



Cisco TelePresence Touch 12 ユーザ ガイド

2012 年 2 月

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco TelePresence Touch 12 ユーザガイド
Copyright © 2011-2012 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2011-2012, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.



CONTENTS

Cisco TelePresence Touch 12 の概要 iii

内容 iii

Cisco TelePresence Touch 12 の概要 iii

使用する前に vii

関連資料 vii

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート vii

CHAPTER 1

Cisco TelePresence Touch 12 のナビゲーションの基本 1-1

内容 1-1

プライマリおよびセカンダリ ボタンバー 1-1

数字キーパッド 1-6

標準および特殊文字キーボード 1-6

Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタン 1-8

CHAPTER 2

Cisco TelePresence Touch 12 を使用したコールの管理 2-1

内容 2-1

セルフ ビューの使用 2-1

カレンダーの確認 2-2

会議への参加 2-4

コールの開始 2-6

キーパッドを使用する場合 2-6

ディレクトリ検索を使用する場合 2-7

お気に入りの使用 2-10

コールへの応答 2-11

タッチ スクリーンからの着信コールへの応答 2-11

コンソールの [Answer] ボタンを使用したコールの応答または終了 2-12

コールのミュート 2-13

自分自身の保留 / 再開 2-14

音量その他のコール設定の制御 2-15

着信コール 2-15

Meeting Volume 2-17

Media Volume 2-18

Appearance 2-19

コンソールの [Volume] ボタンを使用した会議の音量の調節 2-20

CHAPTER 3
Cisco TelePresence Touch 12 の In-Call ツール 3-1

- 内容 3-1
 - 会議コントロールの使用方法 3-1
 - 会議コントロール ボタンのクイック リファレンス 3-2
 - コール参加者の管理 3-3
 - [Meeting Information] 画面 3-4
 - タッチトーンの送信 3-5
 - 会議設定の管理 3-7
 - ビューのコントロール 3-8
 - 会議へのアクセス 3-8
 - 会議の延長 3-8
 - コール中に他のアプリケーションを開く 3-10
 - コール中のカレンダーの確認 3-10
 - コール中の [Settings] と [Call Status] の確認 3-11
 - アクティブな会議への音声コールの追加 3-11
 - 会議のウィンドウの [Add] ボタンを使用 3-11
 - ボタンバーの [Call] ボタンを使用 3-13
 - アクティブな会議への復帰 3-14
 - プレゼンテーションの共有 3-15
 - ラップトップ共有の基本 3-15
 - PiP 制御の使用方法 3-16
 - プレゼンテーション プライバシーの制御 3-18
 - コール中でないときのプレゼンテーションの表示 3-20
 - 複数プレゼンテーションとの共有オプション 3-21
 - ドキュメント カメラを使用した共有 3-22
 - Digital Media Player の使用方法 3-23

CHAPTER 4
Cisco TelePresence Touch 12 のシステム ステータスとトラブルシューティングのヒント 4-1

- 内容 4-1
 - システム ステータスの確認 4-1
 - コール ステータス 4-2
 - システム情報 4-2
 - 周辺装置情報 4-3
 - 問題のレポート 4-3
 - ライブ デスクに電話をかける 4-4
 - Cisco TelePresence Touch 12 のユーザのヒント 4-5

Cisco TelePresence Touch 12 のタッチ スクリーンのクリーニング 4-6

CHAPTER 5**Cisco TelePresence Touch 12 を使用した録音の管理 5-1**

内容 5-1

Recording Server へのログイン 5-1

会議の録音 5-5

ビデオの確認 5-10

ビデオの共有 5-12

Show and Share へのビデオの保存 5-16

[My Videos] に保存されている録音の管理 5-18

 [My Videos] のビデオの編集 5-18

 [My Videos] からのビデオの削除 5-20

[Shared With Me] 内のビデオの管理 5-22

パブリック ビデオの管理 5-23

Cisco TelePresence Touch 12 での録音のヒント 5-23

CHAPTER 6**Cisco TelePresence Touch 12 のシステム アラートおよび会議に関するメッセージ 6-1**

内容 6-1

ラップトップ コンピュータの画面解像度に関するメッセージ 6-1

プレゼンテーションのビデオ信号に関するリマインダ 6-2

会議に関するメッセージ 6-3

コール制御に関するメッセージ 6-3

システムおよびトラブルシューティングに関するメッセージ 6-5

記録サーバに関するメッセージ 6-6

INDEX



Cisco TelePresence Touch 12 の概要

内容

- 「Cisco TelePresence Touch 12 の概要」 (P.iii)
- 「使用する前に」 (P.vii)
- 「関連資料」 (P.vii)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.vii)

Cisco TelePresence Touch 12 の概要

Cisco TelePresence Touch 12 は、Cisco Unified IP Phone を使用せずにテレプレゼンス会議を行えるタッチパネル式 LCD デバイスです。Cisco TelePresence Touch 12 は、Cisco TelePresence の全モデルと一貫性のある自然な対話体験を提供し、アプリケーション、サービス、および広範なコラボレーションの可能性をサポートする会議制御の基盤として機能します。図 1 は、1 日のスケジュールされた会議が表示されている Cisco TelePresence Touch 12 です。

図 1 Cisco TelePresence Touch のスケジュールされた会議



図 2 は、アクティブな会議が進行している Cisco TelePresence Touch 12 です。

図 2 Cisco TelePresence Touch 12 のアクティブな会議



図 3 は、Cisco TelePresence Touch 12 の統合コーデックとスリムでコンパクトなデザインの外観です。

図 3 Cisco TelePresence Touch 12 のコーデック



図 4 は、Cisco TelePresence Touch 12 の画面の角度を調整している状態です。画面を任意の角度にゆっくりと傾けることで、画面を調整できます。

図 4 Cisco TelePresence Touch 12 の傾斜角度調整



使用する前に

Cisco TelePresence Touch 12 を使用する前に、次の項を参照してください。

- 第 1 章「Cisco TelePresence Touch 12 のナビゲーションの基本」
- 第 2 章「Cisco TelePresence Touch 12 を使用したコールの管理」
- 第 3 章「Cisco TelePresence Touch 12 の In-Call ツール」
- 第 4 章「Cisco TelePresence Touch 12 のシステム ステータスとトラブルシューティングのヒント」
- 第 5 章「Cisco TelePresence Touch 12 を使用した録音の管理」
- 第 6 章「Cisco TelePresence Touch 12 のシステム アラートおよび会議に関するメッセージ」

関連資料

関連項目	ドキュメント名
Cisco TelePresence Touch 12 の設置および設定方法。	• 『 Installing and Configuring the Cisco TelePresence Touch 12 』
Cisco TelePresence Touch 12 を使用するための会議の基本ガイド。	• 『 Cisco TelePresence Touch 12 Meeting Quick Reference 』
CTS デバイスに関連する情報を含む、Cisco TelePresence System (CTS) のハードウェアおよびソフトウェア マニュアルの場所。	• Cisco.com [Products] > [TelePresence] > [Cisco TelePresence System] > [TelePresence System]
Cisco TelePresence イマーシブ エンドポイント マニュアル。	• Cisco.com の Cisco TelePresence Administration Software ホームページ
CTS ソフトウェアおよびハードウェア マニュアルの詳細ガイド。	• 『 Cisco TelePresence System Documentation Roadmap 』

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『[What's New in Cisco Product Documentation](#)』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



CHAPTER 1

Cisco TelePresence Touch 12 のナビゲーションの基本

内容

次の各項では、Cisco TelePresence Touch 12 の理解を深めるのに役立つ情報について説明します。

- 「プライマリおよびセカンダリ ボタン バー」 (P.1-1)
- 「数字キーパッド」 (P.1-6)
- 「標準および特殊文字キーボード」 (P.1-6)
- 「Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタン」 (P.1-8)

プライマリおよびセカンダリ ボタン バー

プライマリおよびセカンダリ ボタン バーは、Cisco TelePresence Touch 12 のメイン ナビゲーション ツールです (図 1-1 を参照)。選択したボタンは青色で表示されます。表 1-1 に、ボタンの機能が記載されています。

プライマリ ボタン バー

プライマリ ボタン バーはデフォルトです。次のオプションから選択します。

- Meetings
- Call
- Presentation
- More

セカンダリ ボタン バー

[More] ボタンをタップすると、次の一連のボタンがセカンダリ ボタン バーに表示されます。

- Settings
- Recordings
- Media Player
- Doc Cam
- Self View
- Status

図 1-1 Cisco TelePresence Touch 12 のプライマリおよびセカンダリ ボタン バー



表 1-1 Cisco TelePresence Touch 12 のプライマリおよびセカンダリ ボタン

ボタン	機能
	<p>タップして、スケジュールされた会議のリストを確認します。 カレンダーの確認を参照してください。</p>
	<p>タップして、コールを発信するための各メニュー、Keypad、Directory、または Favorites を表示します。</p> <p>ヒント [Directory] タブと [Favorites] タブは、管理者がディレクトリリストまたはお気に入りリストを設定している場合のみ表示されます。[Keypad] タブは常に表示されます。</p> <p>[Call] ウィンドウを閉じるには、右上隅にある [X] をタップします。 コールの開始を参照してください。</p>
	<p>タップして、ビデオ共有、画面の PiP 配置、ビデオの入力ソースなどの会議のプレゼンテーションを制御します。</p> <p>ヒント PiP 制御は、コール中、およびプレゼンテーション デバイスが共有されている場合のみ使用できます。</p> <p>[Presentation] ウィンドウを閉じるには、右上隅にある [X] をタップします。 プレゼンテーションの共有を参照してください。</p>
 	<p>[More] をタップして、セカンダリ ボタン バーを表示します。セカンダリ ボタン バーを閉じるには、[Less] をタップします。</p> <p>ヒント セカンダリ ボタン バーを閉じるには、ボタン バーの外側の任意の場所をタップします。プライマリ ボタン バーは常に表示されます。</p> <p>プライマリおよびセカンダリ ボタン バーを参照してください。</p>

表 1-1 Cisco TelePresence Touch 12 のプライマリおよびセカンダリ ボタン (続き)

ボタン	機能
Settings 	<p>タップして、システム設定を管理します。</p> <ul style="list-style-type: none"> [Incoming Calls] : Auto Answer を制御し、呼出音の形式を選択します。呼出音は、変更できるようにシステムが設定されている場合のみ変更できます。 [Meeting Volume] : 会議、スピーカ、およびヘッドセットの音量を制御し、スピーカまたはヘッドセット（使用可能な場合）間の音声モードを選択します。 <p>ヒント コールの音量は、Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタンを使用して制御することもできます。</p>  <ul style="list-style-type: none"> [Media Volume] : Media Player (DMP) およびプレゼンテーション音声のスピーカとヘッドセットの音量を制御します。 [Appearance] : 画面の明るさを制御します。 <p>音量その他のコール設定の制御を参照してください。</p>
Recordings 	<p>タップして、ビデオの録音オプションにアクセスします。</p> <p>ヒント [Recordings] ボタンは、システムに録音機能が設定されている場合のみ表示されます。</p> <p>「Cisco TelePresence Touch 12 を使用した録音の管理」を参照してください。</p>
Media Player 	<p>タップして、Digital Media Player (DMP) または同様のメディアデバイスを制御します。</p> <p>ヒント [Media Player] ボタンは、メディアプレーヤーがシステムに接続されていて、設定されている場合のみ表示されます。</p> <p>Digital Media Player の使用方法を参照してください。</p>
Doc Cam 	<p>タップして、ドキュメントカメラのコントロールにアクセスします。</p> <p>ヒント [Doc Cam] ボタンは、ドキュメントカメラがシステムに接続されていて、設定されている場合のみ表示されます。</p> <p>ドキュメントカメラを使用した共有を参照してください。</p>

表 1-1 Cisco TelePresence Touch 12 のプライマリおよびセカンダリ ボタン (続き)


ボタン	機能
Self View 	タップして、会議開始前に自分自身を確認します。 ヒント [Self View] ボタンは、アクティブ コール中でない場合のみ表示されます。 セルフ ビューの使用 を参照してください。

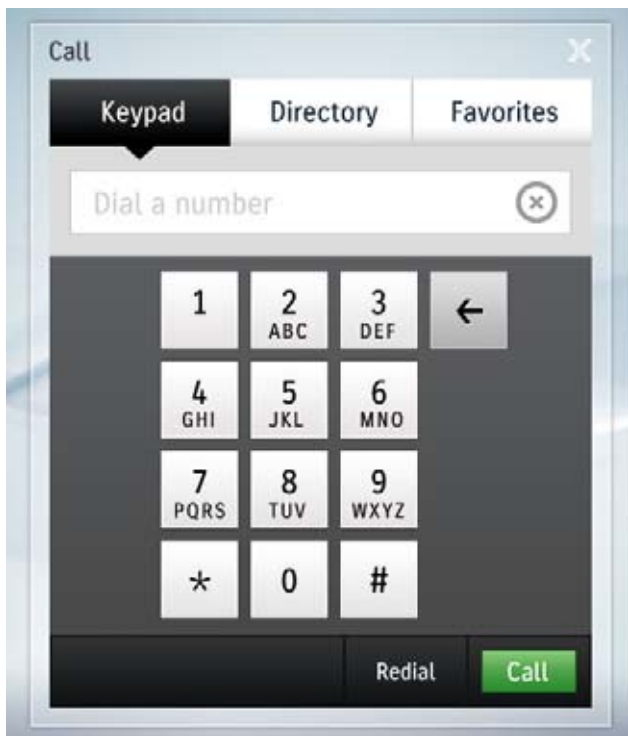
表 1-1 Cisco TelePresence Touch 12 のプライマリおよびセカンダリ ボタン (続き)

ボタン	機能
<p data-bbox="363 360 443 389">Status</p> 	<p data-bbox="703 360 1374 389">タップして、システムに関する次の情報にアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="719 412 1469 441">• [Call Status] : アクティブ コールに関する情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="767 456 932 486">- 画面解像度 <li data-bbox="767 501 1469 530">- セキュリティ (イネーブルまたはディセーブルのいずれか) <li data-bbox="767 546 1007 575">- ネットワーク品質 <li data-bbox="767 591 1007 620">- ネットワーク遅延 <li data-bbox="767 636 879 665">- ジッタ <li data-bbox="767 680 1007 710">- 送信ビットレート <li data-bbox="719 725 1497 822">• [System Status] : Cisco TelePresence Touch 12 および接続しているコーデックのネットワークとソフトウェアの情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="767 837 932 866">- IP アドレス <li data-bbox="767 882 975 911">- MAC アドレス <li data-bbox="767 927 1086 956">- ソフトウェア バージョン <li data-bbox="767 972 1187 1001">- コーデックのセキュリティ モード <li data-bbox="767 1016 1075 1046">- プライマリ DNS サーバ <li data-bbox="719 1061 1497 1189">• [Peripheral Status] : システムに接続されている周辺装置のステータスです。次の非インタラクティブなアイコンは、カメラ ディスプレイ、マイク、プロジェクタ、LCD、DVI/VGA、およびドキュメント カメラのステータスを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="767 1205 1422 1234">- 緑色のチェックマークは機能していることを示します。  <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="767 1330 1150 1359">- 赤色の X はエラーを示します。  <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="767 1464 1241 1494">- ドットは不明なステータスを示します。  <li data-bbox="719 1576 1497 1673">• [Report Problem] : ドロップダウン メニューから問題の種類を選択し、支援を受けるために最近のシステム アクティビティのログを管理者に送信します。 <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="767 1688 1075 1718">- 音声、スピーカ、マイク <li data-bbox="767 1733 1155 1762">- ビデオ、ディスプレイ、カメラ <li data-bbox="767 1778 1294 1807">- プロジェクタ、LCD、ドキュメント カメラ <li data-bbox="767 1823 948 1852">- Cisco Touch <li data-bbox="767 1868 852 1897">- 録音 <li data-bbox="767 1912 879 1942">- その他

数字キーパッド

数字キーパッド (図 1-2) は、電話番号を手動でダイヤルする、またはタッチ トーンを入力する必要がある場合にいつでも使用できます。キーパッドを使用する場合を参照してください。

図 1-2 数字キーパッド



次の各項で、キーパッドを使用する場合の例を確認してください。

- [タッチトーンの送信](#)
- [アクティブな会議への音声コールの追加](#)
- [Recording Server へのログイン](#)

標準および特殊文字キーボード

標準 (図 1-3) および特殊文字 (図 1-4) キーボードは、名前や電子メール アドレスを入力する必要がある場合にいつでも使用できます。

図 1-3 標準キーボード



図 1-4 特殊文字キーボード


ヒント

標準キーボードと特殊文字キーボードを切り替えるには、[#+=] ボタンまたは [ABC] ボタンをタップします。

任意のタイミングでキーボードを閉じるには、[X] アイコンをタップするか、キーボード以外の場所をタップします。

次の各項で、キーボードを使用する場合の例を確認してください。

- [ディレクトリ検索を使用する場合](#)
- [Recording Server へのログイン](#)
- [会議の録音後にビデオタイトルを作成する、またはビデオの共有の電子メールアドレスを入力する。](#)

Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタン

図 1-5 は、Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタンを示しています。

図 1-5 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソール



表 1-2 は、Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタンについての記載です。

表 1-2 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタン



ボタン	機能
ライブ デスク 	ライブ デスクのサポート番号へのコールを開始するために押します。アクティブ コールはすべて保留状態になります。 ヒント ライブ デスクは、管理者によって設定されている必要があります。 ライブ デスクに電話をかける を参照してください。
Home 	設定済みの [Home] ウィンドウに戻る、またはコール中に他にナビゲートされた場合にアクティブ コールに戻るために押します。このボタンは常に青色でバックライト表示されます。

表 1-2 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタン (続き)

ボタン	機能
	<p>Cisco TelePresence Touch 12 の画面に [Incoming Call] ダイアログが表示されているときにコールに応答するために押します。このボタンは、選択すると緑色でバックライト表示されます。</p> <p>すでにアクティブ コールがある場合、そのコールは保留状態になり、着信コールに応答することができます。</p> <p>ヒント このボタンは、アクティブ コールを終了するためにも使用できます。</p> <p>コンソールの [Answer] ボタンを使用したコールの応答または終了を参照してください。</p>
	<p>コンソールの [Volume] ボタンを使用して、コール音量を制御します。</p> <p>ヒント システム音量を調整するには、[More] > [Settings] をタップして、次のいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Incoming Calls • Meeting Volume • Media Volume
	<p>Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールの [Mute] ボタンを押して、自分自身と会議室全体をミュートします。このボタンは、選択すると赤色でバックライト表示されます。</p> <p>ヒント この [Mute] ボタンは、室内マイクの [Mute] ボタンと同じです。</p> <p>コールのミュートを参照してください。</p>



CHAPTER 2

Cisco TelePresence Touch 12 を使用した コールの管理

内容

- 「セルフ ビューの使用」 (P.2-1)
- 「カレンダーの確認」 (P.2-2)
- 「会議への参加」 (P.2-4)
- 「コールの開始」 (P.2-6)
- 「コールへの応答」 (P.2-11)
- 「コールのミュート」 (P.2-13)
- 「自分自身の保留/再開」 (P.2-14)
- 「音量その他のコール設定の制御」 (P.2-15)

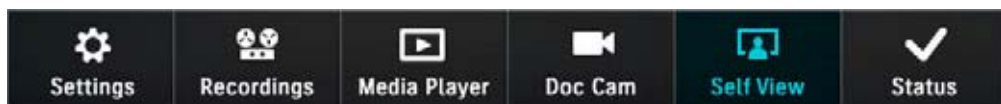
セルフ ビューの使用

会議の前にセルフ ビューを使用して自分自身を表示するには、次の手順に従います。

ステップ 1 ボタン バーの [More] ボタンをタップします。セカンダリ ボタン バーが表示されます。



ステップ 2 セカンダリ ボタン バーの [Self View] をタップします。



セカンダリ ボタン バーが消え、Cisco TelePresence Touch 12 に [Self View] 画面が表示されます (図 2-1)。ミラー イメージが CTS 画面に表示されます。複数のカメラを使用している場合は、自分自身の表示に使用するカメラを選択できます。

図 2-1 [Self View] 画面



ステップ 3 [Exit] をタップしてウィンドウを閉じ、[Self View] モードを終了します。

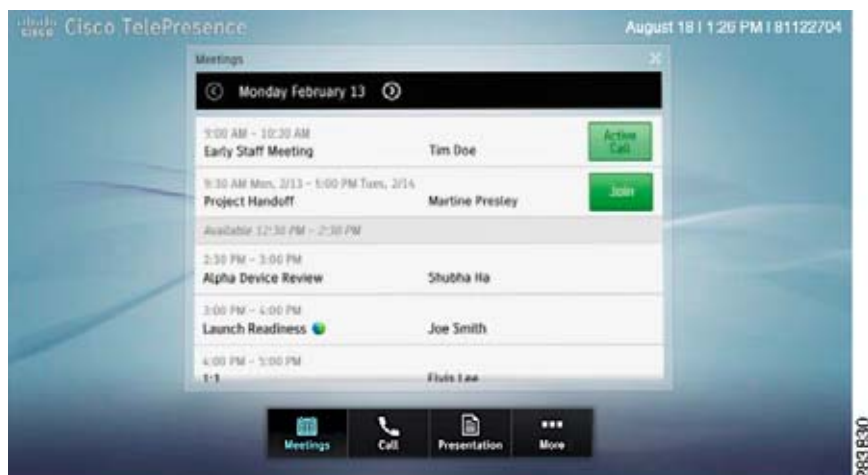
カレンダーの確認

システムで会議がスケジュールされている場合、会議カレンダーを確認できます。

ステップ 1 プライマリ ボタン バーの [Meetings] ボタンをタップします。[Meetings] ウィンドウが表示されます (図 2-2)。



図 2-2 Cisco TelePresence Touch のスケジュールされた会議のウィンドウ



ステップ 2 移動するには、[Meetings] ウィンドウの上部にあるアイコンをタップします (図 2-3)。

図 2-3 会議画面のナビゲーション



1 日単位で進んで将来の会議を確認するには、[Forward] アイコンをタップします。



1 日単位で戻るには、[Back] アイコンをタップします。



直接当日に戻るには、[Today] アイコンをタップします。



会議への参加

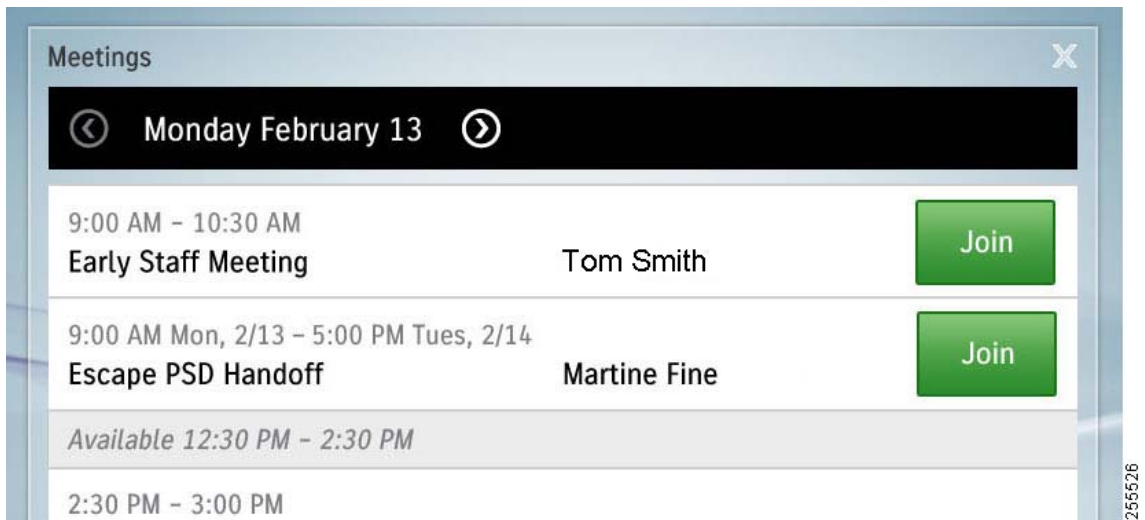
スケジュールされた会議に参加するには、次の手順に従います。

ステップ 1 ボタンバーの [Meetings] ボタンをタップします。



[Meetings] 画面が表示されます (図 2-4)。

図 2-4 [Meetings] 画面



ステップ 2 参加する会議をリストから検索し、[Join] ボタンをタップします。[Joining] 画面は、会議への参加要求が処理されていることを示します (図 2-5)。

図 2-5 [Joining] 画面



会議が接続されると、その会議のウィンドウが表示され、デフォルトで [Call Duration] ウィンドウが開きます (図 2-6)。

図 2-6 会議のウィンドウ



- ステップ 3** 第 3 章「Cisco TelePresence Touch 12 の In-Call ツール」の「会議コントロールの使用法」の情報を参照して会議のオプションを管理します。

コールの開始

コールを開始するには、次の方法があります。

- 「キーパッドを使用する場合」(P.2-6)
- 「ディレクトリ検索を使用する場合」(P.2-7)
- 「お気に入りの使用」(P.2-10)

キーパッドを使用する場合



ヒント

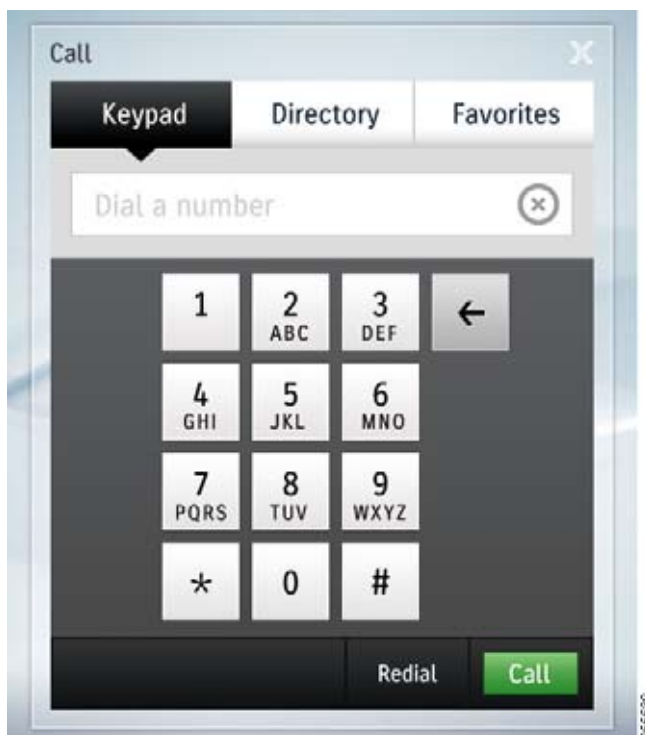
電話番号を手動でダイヤルしたり、タッチ トーンを入力する必要がある場合、数値 **キーパッド** を使用できます。

- ステップ 1** プライマリ ボタンバーの [Call] ボタンをタップします。



- ステップ 2** 表示されるキーパッドでダイヤルする番号をタップします (図 2-7)。

図 2-7 キーパッドからのコールの発信



ステップ 3 [Call] ボタンをタップします。

ステップ 4 タッチ トーンを使用する必要がある場合は、In-Call ウィンドウの [Touch Tones] ボタンをタップします。



タッチ トーンの詳細については、[タッチトーンの送信](#)を参照してください。

ディレクトリ検索を使用する場合



ヒント

[Directory] タブは、管理者がディレクトリを設定している場合のみ表示されます。

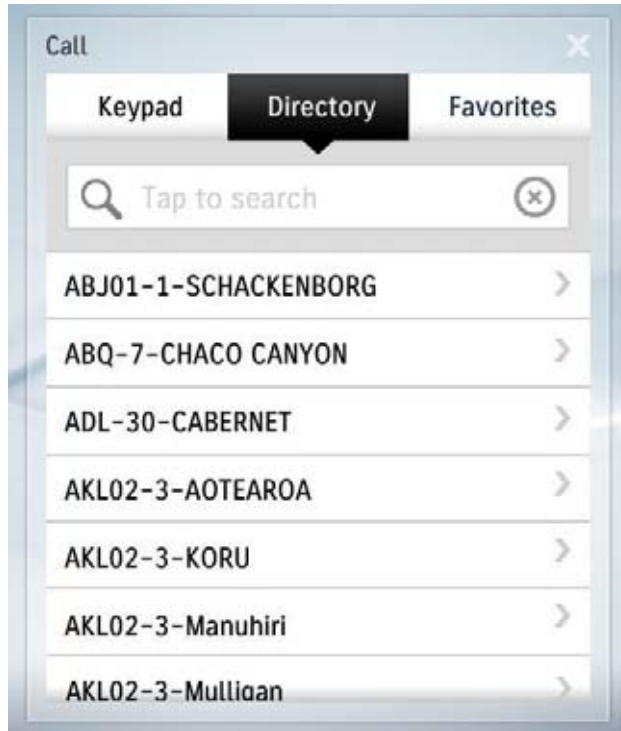
ディレクトリ検索を使用してコールを発信するには、次の手順に従います。

ステップ 1 プライマリ ボタン バーの [Call] ボタンをタップします。



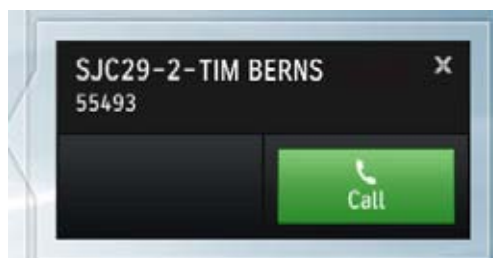
ステップ 2 [Directory] タブをタップしてディレクトリを表示します (図 2-8)。

図 2-8 ディレクトリからのコールの発信



ステップ 3 指で [Directory] 内のエントリーをスクロールし、名前をタップしてそのユーザまたは会議室の連絡先カードを開きます (図 2-9)。

図 2-9 連絡先カード



ステップ 4 または、検索フィールド内を 1 回タップして標準キーボードを表示します (図 2-10)。

図 2-10 標準キーボードを使用したディレクトリ検索



ステップ 5 ユーザまたは会議室の名前を入力します。入力したテキストが検索フィールドに表示されます。



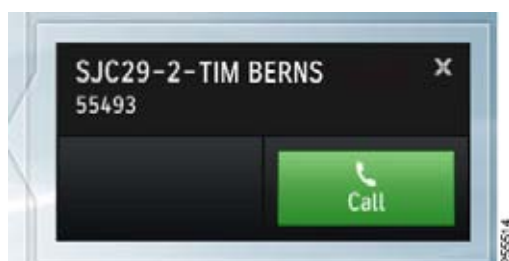
ヒント

標準キーボードと特殊文字キーボードを切り替えるには、[#+=] ボタンまたは [ABC] ボタンをタップします。

任意のタイミングでキーボードを閉じるには、[X] アイコンをタップするか、キーボード以外の場所をタップします。

ステップ 6 連絡先カードの [Call] ボタンをタップし、そのユーザまたは会議室にコールします (図 2-11)。

図 2-11 連絡先カード



お気に入りの使用



ヒント

[Favorites] タブは、管理者がお気に入りリストを設定している場合のみ表示されます。

お気に入りを使用してコールを発信するには、次の手順に従います。

ステップ 1 プライマリ ボタン バーの [Call] ボタンをタップします。



ステップ 2 [Favorites] タブをタップします (図 2-12)。

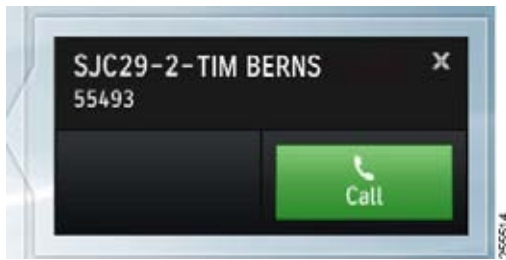
図 2-12 お気に入りからのコールの発信



ステップ 3 指で [Favorites] 内のエントリーをスクロールし、名前をタップしてそのユーザの連絡先カードを開きます。

ステップ 4 連絡先カードの [Call] ボタンをタップし、そのユーザにコールを発信します (図 2-13)。

図 2-13 連絡先カード



コールへの応答

コールに応答するには、次の 2 つの方法があります。

- 「タッチ スクリーンからの着信コールへの応答」(P.2-11)
- 「コンソールの [Answer] ボタンを使用したコールの応答または終了」(P.2-12)

タッチ スクリーンからの着信コールへの応答

タッチ スクリーンを使用して着信コールに応答するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** アクティブなコールがない場合は、[Incoming Call] ウィンドウで次のいずれかをタップします (図 2-14)。
- [Answer] : 着信コールに応答し、[Incoming Call] ウィンドウを閉じます。
 - [Ignore] : 呼び出し音を止めてコールを **iDivert** に送信します。自動応答が設定されている場合、[Ignore] をタップすると着信コールの自動応答は無効になります。コールが着信したときに開いていたアプリケーションは、画面に残ったままになります。

図 2-14 アクティブ コールがない場合 : [Answer] および [Ignore] オプション



- ステップ 2** アクティブ コールがある場合、またはコールがリモート保留の場合、[Incoming Call] ウィンドウで次のいずれかをタップします (図 2-15)。
- [End and Answer] : 現在のコールを終了し、着信コールに応答し、[Incoming Call] ウィンドウを閉じます。
 - [Hold and Answer] : 現在のコールを保留にし、着信コールに応答し、[Incoming Call] ウィンドウを閉じます。

図 2-15 アクティブ コールがある場合 : [Answer] および [Ignore] オプション



ヒント

[Incoming Call] ウィンドウを閉じるには、処理を選択する必要があります。

コンソールの [Answer] ボタンを使用したコールの応答または終了を参照してください。

コンソールの [Answer] ボタンを使用したコールの応答または終了

Cisco TelePresence Touch 12 の画面に [Incoming Call] ダイアログが表示されたときに、Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールの [Answer] ボタンを押してコールに応答します (図 2-16)。このボタンを選択すると、緑色に点灯します。コール中の場合は、このボタンを押すとコールが終了します。タッチ スクリーンからの着信コールへの応答を参照してください。

図 2-16 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソール : [Answer] ボタン



コールのミュート

アクティブ コール中に、自分自身および会議室全体をミュートするには、Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールの [Mute] ボタンを押します (図 2-17)。このボタンを選択すると赤色に点灯し、対応するミュートアイコンが CTS メインディスプレイに表示され、ミュートされていることを示します。自分自身のミュートを解除するには、[Mute] ボタンをもう一度押すだけです。



ヒント

会議室のいずれかのマイクの [Mute] ボタンを押して、会議をミュートすることもできます。

図 2-17 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソール : [Mute] ボタン

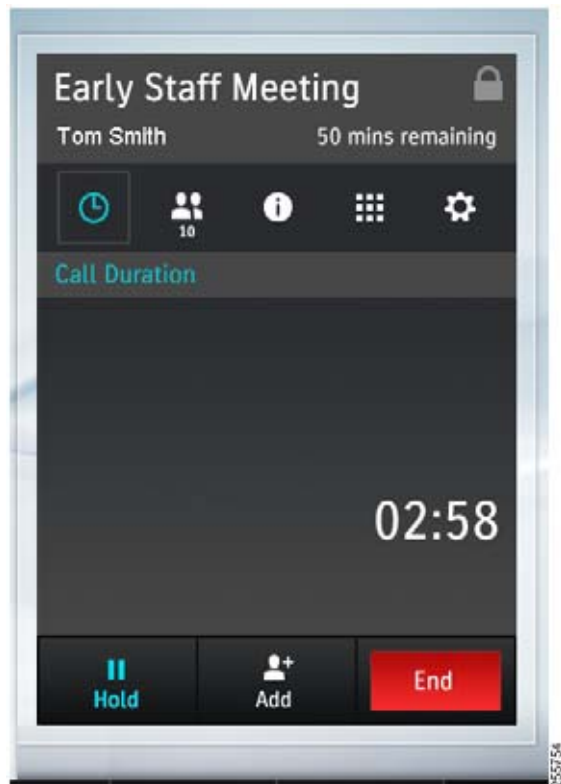


自分自身の保留/再開

会議中に自分自身を保留にした後、コールを再開するには、次の手順に従います。

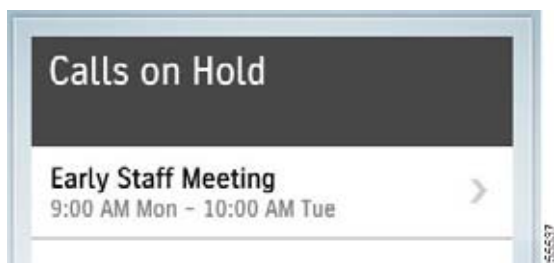
ステップ 1 [Hold] ボタンをタップします (図 2-18)。

図 2-18 自分自身の保留



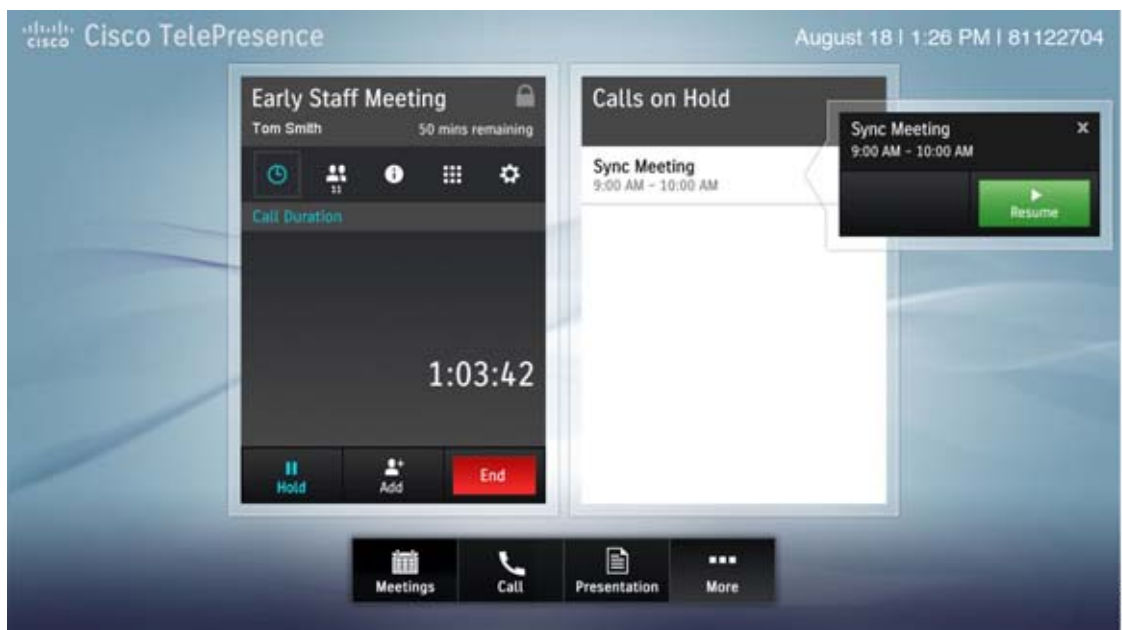
[Calls on Hold] ウィンドウが表示されます (図 2-19)。

図 2-19 Calls on Hold



ステップ 2 会議コンテキストカードの [Resume] ボタンをタップし、会議に戻ります。図 2-20 に、保留/再開を示します。

図 2-20 自分自身の保留と再開



音量その他のコール設定の制御

次の設定の制御方法について説明します。

- 「着信コール」 (P.2-15)
- 「Meeting Volume」 (P.2-17)
- 「Media Volume」 (P.2-18)
- 「Appearance」 (P.2-19)
- 「コンソールの [Volume] ボタンを使用した会議の音量の調節」 (P.2-20)

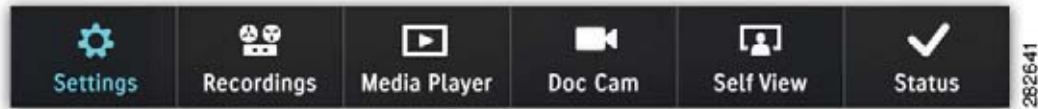
着信コール

着信コールの音量と呼び出し音の設定を制御するには、次の手順に従います。

ステップ 1 ボタンバーの [More] ボタンをタップします。セカンダリ ボタンバーが表示されます。



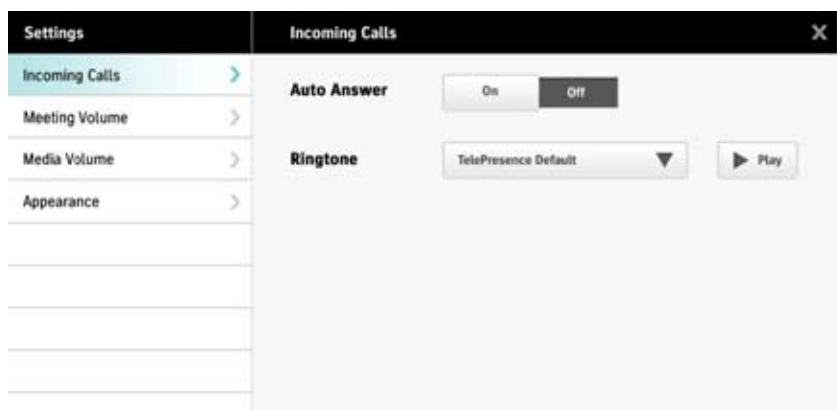
ステップ 2 セカンダリ ボタンバーの [Settings] をタップします。[Settings] ウィンドウが表示されます。



ステップ 3 [Incoming Calls] をタップします。

ステップ 4 [Auto Answer] 設定が変更できるように設定されている場合、セレクトアをタップしてドラッグし、[On] または [Off] を切り替えます (図 2-21)。設定されていない場合、自動応答はデフォルトで [Off] に設定されています。

図 2-21 自動応答と呼び出し音の設定



ステップ 5 呼び出し音を変更できるように設定されている場合、下向き矢印をタップしてメニューバーを開き (図 2-21)、タップして使用可能な呼び出し音を選択します。設定されていない場合、シスコの標準呼び出し音がデフォルトです。

ステップ 6 [Play] をタップすると、選択した呼び出し音のサンプルを聞くことができます。セレクトアを放すとサンプル呼び出し音が聞こえ、呼び出し音音量インジケータが表示されます (図 2-22)。

図 2-22 呼び出し音音量インジケータ



ステップ 7 設定の変更が完了したら、[Incoming Calls] ウィンドウの右上の [X] をタップしてウィンドウを閉じるか、左側のメニューから [Meeting Volume] または別の選択項目をタップして Cisco TelePresence Touch 12 の設定の調整を続行します。

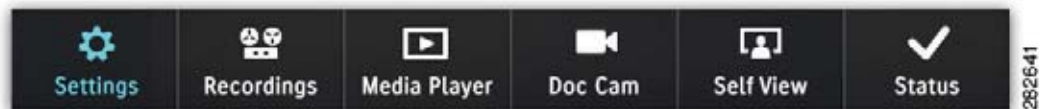
Meeting Volume

会議、スピーカー、およびヘッドセットの音量を調節し、音声モードを選択するには、次の手順に従います。

ステップ 1 ボタンバーの [More] ボタンをタップします。セカンダリ ボタンバーが表示されます。

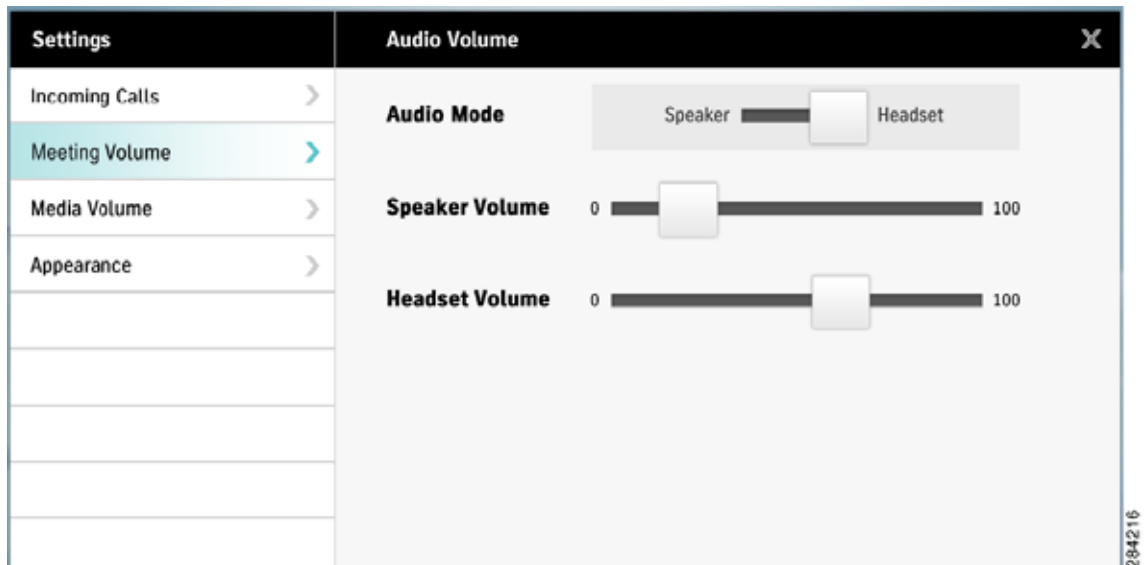


ステップ 2 セカンダリ ボタンバーの [Settings] をタップします。



ステップ 3 [Meeting Volume] をタップします。[Meeting Volume] ウィンドウが表示されます (図 2-23)。

図 2-23 音声モードと音量の設定



ステップ 4 [Audio Mode] を選択します。ヘッドセットが CTS エンドポイントに接続されている場合、スライダをタップしてドラッグし [Speaker] または [Headset] を選択します。



ヒント

ヘッドセット オプションが設定されていない場合は、ヘッドセット調整コントロールは表示されません。

ステップ 5 スライダをタップし、目的の位置までドラッグして、[Speaker Volume] を調整します。サンプル オーディオ トーンは再生されませんが、スピーカー音量インジケータが表示されます (図 2-24)。

図 2-24 スピーカ音量インジケータ



- ステップ 6** スライダをタップし、目的の位置までドラッグして、[Headset Volume] を調整します。サンプル オーディオ トーンは再生されませんが、ヘッドセット音量インジケータが表示されます (図 2-25)。

図 2-25 ヘッドセット音量インジケータ



- ステップ 7** 設定の変更が完了したら、[Meeting Volume] ウィンドウの右上の [X] をタップしてウィンドウを閉じるか、左側のメニューから [Media Volume] または別の選択項目をタップして Cisco TelePresence Touch 12 の設定の調整を続行します。

Media Volume

メディア プレーヤー (DMP) およびプレゼンテーションの音声用のスピーカとヘッドセットの音量を調節するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** ボタン バーの [More] ボタンをタップします。セカンダリ ボタン バーが表示されます。

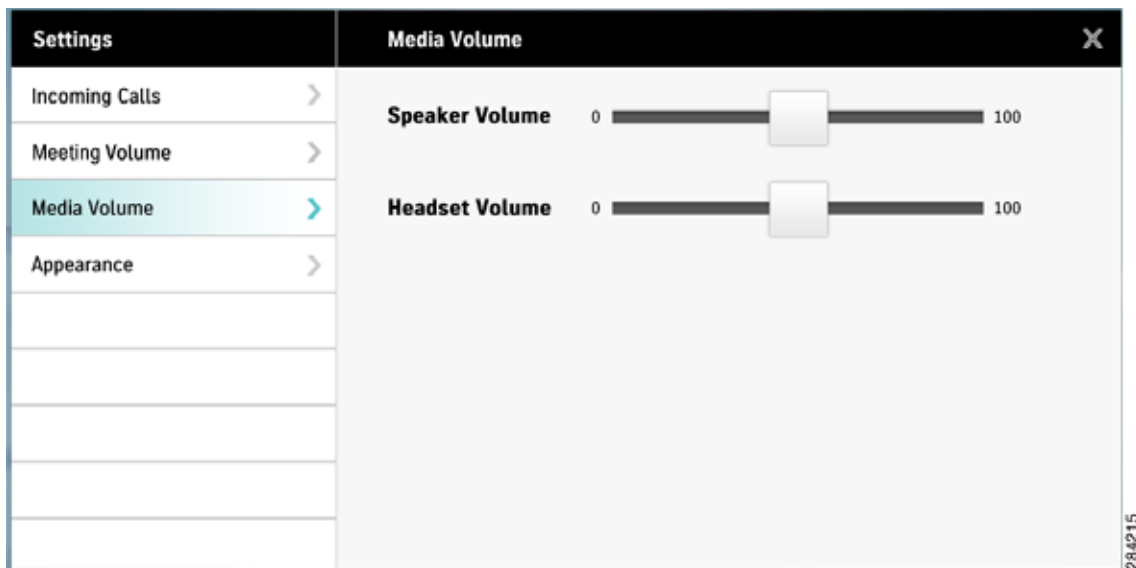


- ステップ 2** セカンダリ ボタン バーの [Settings] をタップします。



- ステップ 3** [Media Volume] をタップします。[Media Volume] ウィンドウが表示されます (図 2-23)。

図 2-26 メディア音量の設定



- ステップ 4** スライダをタップし、目的の位置までドラッグして、[Speaker Volume] を調整します。サンプル オーディオ トーンは再生されませんが、音量インジケータが表示されます (図 2-22)。
- ステップ 5** スライダをタップし、目的の位置までドラッグして、[Headset Volume] を調整します。サンプル オーディオ トーンは再生されませんが、音量インジケータが表示されます。
- ステップ 6** 設定の変更が完了したら、[Media Volume] ウィンドウの右上の [X] をタップしてウィンドウを閉じるか、左側のメニューから [Appearance] または別の選択項目をタップして Cisco TelePresence Touch 12 の設定の調整を続行します。

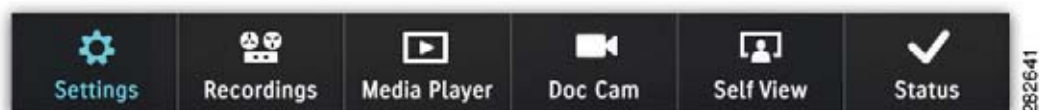
Appearance

Cisco TelePresence Touch 12 の画面の明るさを調節するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** ボタンバーの [More] ボタンをタップします。セカンダリ ボタンバーが表示されます。

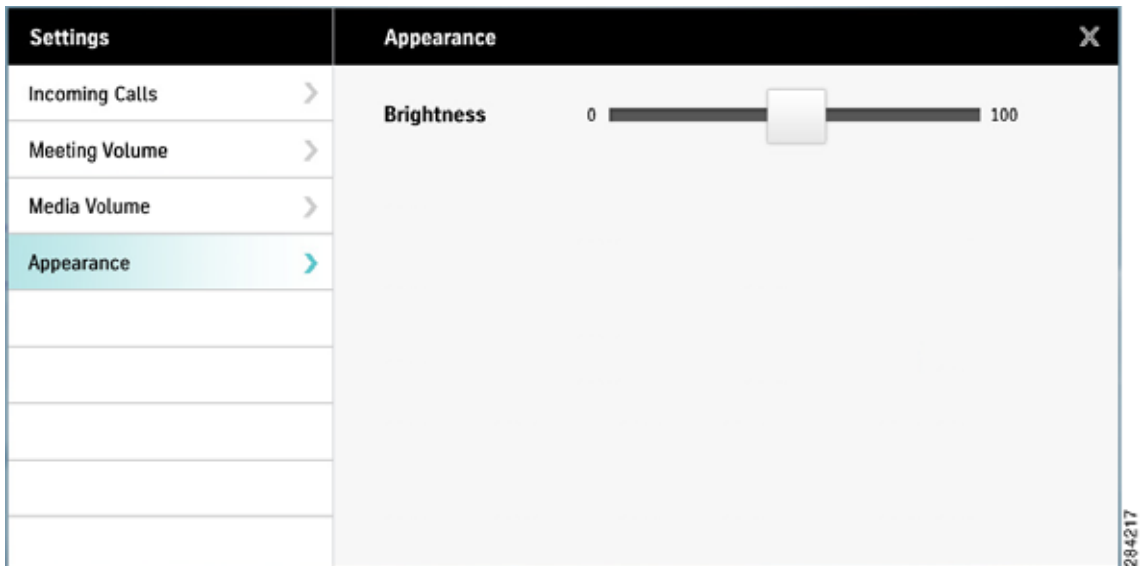


- ステップ 2** セカンダリ ボタンバーの [Settings] をタップします。



- ステップ 3** [Appearance] をタップします。[Appearance] ウィンドウが表示されます (図 2-23)。

図 2-27 画面の外観の設定



- ステップ 4** スライダーをタップし、目的の位置までドラッグして、[Brightness] を調整します。
- ステップ 5** 設定の変更が完了したら、[Appearance] ウィンドウの右上の [X] をタップしてウィンドウを閉じるか、左側のメニューから別の選択項目をタップして Cisco TelePresence Touch 12 の設定の調整を続行します。

コンソールの [Volume] ボタンを使用した会議の音量の調節

コールの音量は、Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタンを使用して調節することもできます (図 2-28)。[Volume] ボタンは、呼び出し音、スピーカ、DMP/プレゼンテーションの音量を調節します。コンソールの [Volume] ボタンを使用すると、[More] > [Settings] をタップする場合と同様の音量設定の変更を行うことができます。

図 2-28 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソール : [Volume] ボタン





CHAPTER 3

Cisco TelePresence Touch 12 の In-Call ツール

内容

- 「会議コントロールの使用方法」 (P.3-1)
- 「コール中に他のアプリケーションを開く」 (P.3-10)
- 「プレゼンテーションの共有」 (P.3-15)
- 「Digital Media Player の使用方法」 (P.3-23)

会議コントロールの使用方法

会議の管理の詳細については、次の各項を参照してください。

- 「会議コントロール ボタンのクイック リファレンス」 (P.3-2)
- 「コール参加者の管理」 (P.3-3)
- 「[Meeting Information] 画面」 (P.3-4)
- 「タッチトーンを送信」 (P.3-5)
- 「会議設定の管理」 (P.3-7)



会議コントロール ボタンのクイック リファレンス

表 3-1 は、アクティブな会議中に表示される会議コントロールのボタンについての記載です。選択したボタンは青色で表示されます。

表 3-1 Cisco TelePresence Touch 12 の会議コントロール ボタン

ボタン	機能
Call Duration 	<p>[Call Duration] ウィンドウは、アクティブな会議のホームページとして機能します。画面上のカウンタに、現在の会議での Cisco TelePresence Touch 12 の使用時間が表示されます。</p>
Participants 	<p>タップして、すべてのスケジュールされた会議、マルチポイント コール、および音声アドインを使用した未スケジュールのポイントツーポイント コールの参加者のリストを確認します。音声アドインを使用しないポイントツーポイント コールには参加者リストは表示されません。</p>
Audio Indicator 	<p>ヒント リストのロードには少し時間がかかることがあります。</p> <p>ローカル エンドポイントが音声専用の場合、Audio Indicator (選択不可) も表示されます。</p> <p>コール参加者の管理を参照してください。</p>
Call-In Information 	<p>タップして、電話番号と会議番号、Cisco WebEx URL (会議で使用可能な場合) などの会議の情報を表示します。</p> <p>[Meeting Information] 画面を参照してください。</p>
Touch Tones 	<p>タップして、Dual Tone Multi-Frequency (DTMF) トーンを送信するためのキーパッドを表示します。</p> <p>タッチトーンの送信を参照してください。</p>
Settings 	<p>マルチポイント会議用の会議コントロール オプションです。アクセス オプションには次のものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • View Control • Meeting Access • Meeting Timing (会議延長オプション) <p>ヒント これらのオプションがシステムに設定されていない場合、[Settings] ボタンは表示されません。</p> <p>会議設定の管理を参照してください。</p>

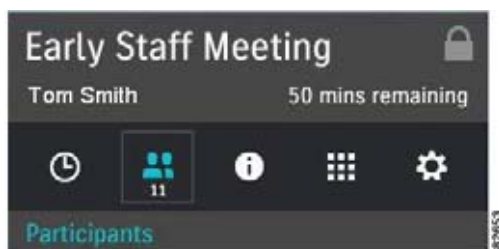
表 3-1 Cisco TelePresence Touch 12 の会議コントロール ボタン (続き)

ボタン	機能
Meeting Security 	このアイコンは、会議がセキュリティで保護されているかいないかを示します。対応するアイコンもメインディスプレイに表示されます。
Cisco WebEx 	このアイコンは、会議出席者が Cisco WebEx を使用して会議に参加していることを示します。複数の Cisco WebEx 参加者は、参加者リスト内では 1 つの参加者エントリで表されます。

コール参加者の管理

会議に加えた音声専用のエンドポイントをドロップする、またはマルチポイントのビデオ参加者をドロップする手順は、次のとおりです。

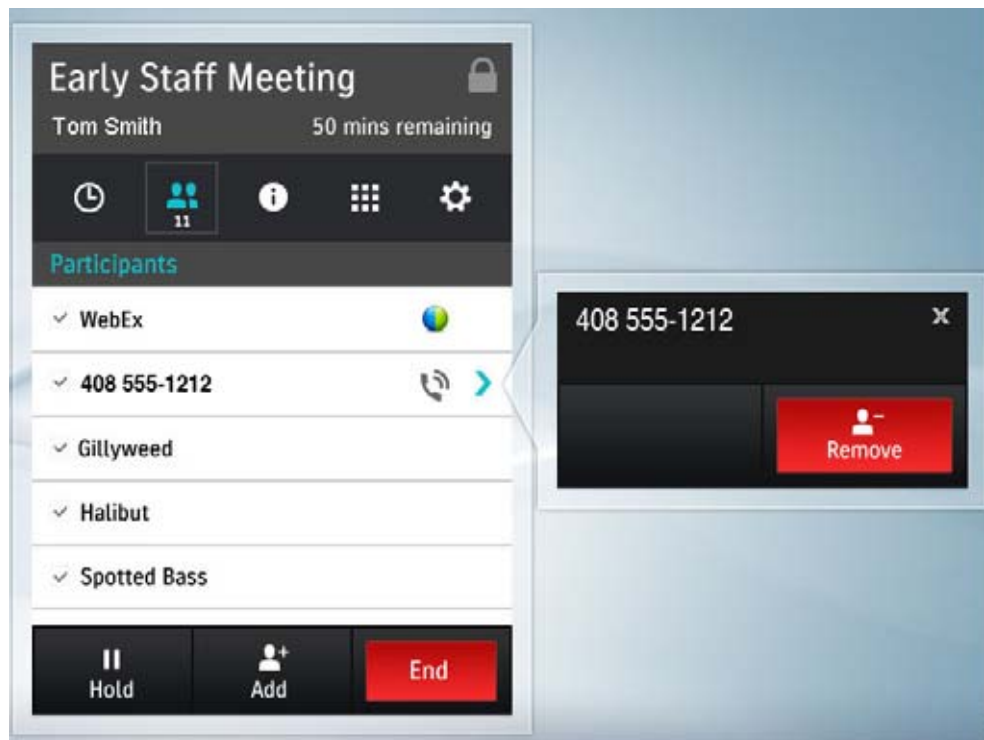
ステップ 1 [Participants] ボタンをタップして、参加者リストを表示します。



ステップ 2 音声参加者またはビデオ参加者のエントリをタップして、その参加者の[連絡先カード](#)を表示します (図 3-1 を参照)。

ステップ 3 [Remove] ボタンをタップして、選択した参加者をドロップします。

図 3-1 参加者の削除

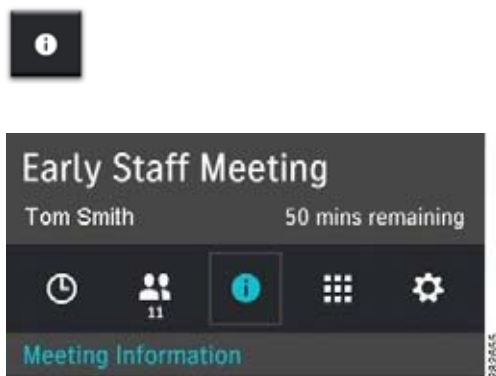


- ステップ 4** [Call Duration] ボタンをタップして、[Participants] ウィンドウからデフォルトの会議画面に戻るか、または別の会議ボタンをタップします。

[Meeting Information] 画面

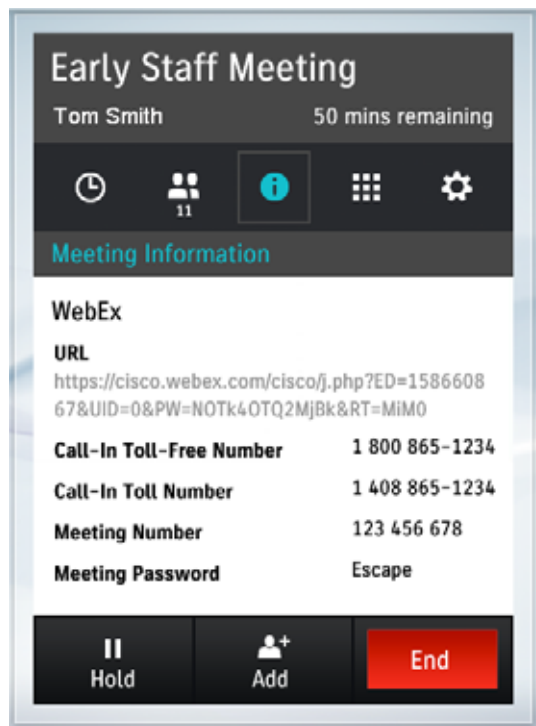
スケジュールされた会議に関する情報を表示する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** [Meeting Information] ボタンをタップします。



会議の詳細が表示されます (図 3-2 を参照)。

図 3-2 [Meeting Information] ウィンドウ



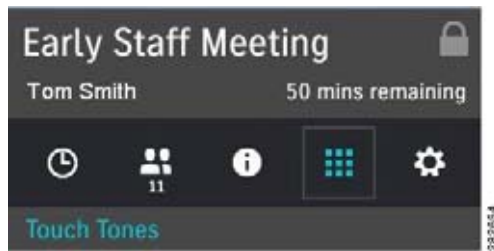
- ステップ 2** [Call Duration] ボタンをタップして、[Meeting Information] ウィンドウからデフォルトの会議画面に戻るか、または別の会議ボタンをタップします。

タッチトーンの送信

DTMF タッチトーンを送信する手順は、次のとおりです。

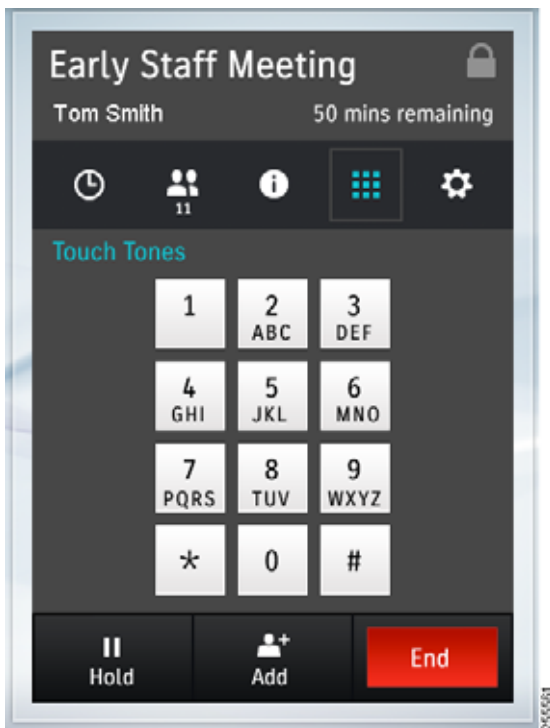
- ステップ 1** [Touch Tones] ボタンをタップします。





ステップ 2 表示されるキーパッドで自分のタッチトーンをタップします (図 3-3 を参照)。

図 3-3 キーパッドの [Touch Tones]

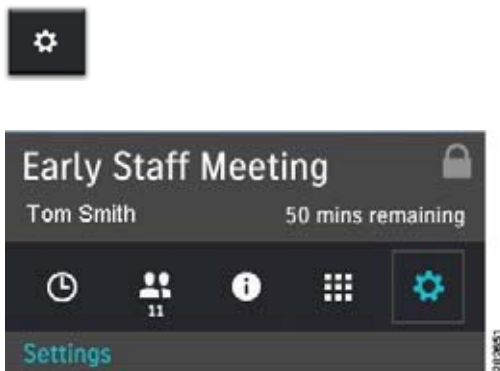


ステップ 3 目的のトーンを入力し終わったら、[Call Duration] ボタンをタップしてキーパッドからデフォルトの会議画面に戻るか、または別の会議ボタンをタップします。

会議設定の管理

会議設定を管理する手順は、次のとおりです。

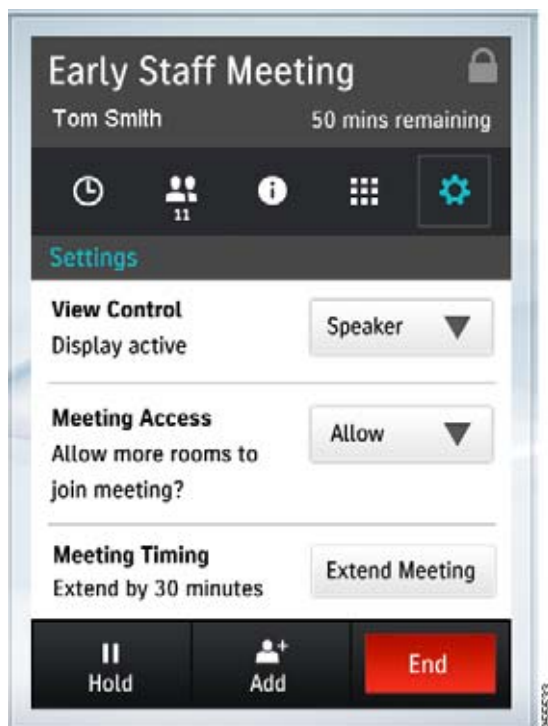
ステップ 1 [Settings] ボタンをタップします。



[Settings] 画面が表示されます (図 3-4 を参照)。この画面では、会議の次の点を管理できます。

- 「ビューのコントロール」 (P.3-8)
- 「会議へのアクセス」 (P.3-8)
- 「会議の延長」 (P.3-8)

図 3-4 会議コントロールの [Settings] 画面



- ステップ 2** 変更を終えたら、[Call Duration] ボタンをタップして [Settings] ウィンドウからデフォルトの会議画面に戻るか、または別の会議ボタンをタップします。
-

ビューのコントロール

[View Control] は、マルチポイント コール時に 3 スクリーン システムにのみ表示されます。メニューから次のオプションを選択できます。

- [Speaker] : 誰かが話し始めたとき、3 スクリーン ルームにいるアクティブ スピーカのスイッチだけがオンになります。
- [Room] : 誰かが話し始めたとき、3 スクリーン ルームの 3 つセグメントのスイッチがすべてオンになります。

ユーザの設定は自動的に実装され、現在のコールの間保存されます。会議が終了すると元の設定に戻ります。

会議へのアクセス

このオプションはマルチポイント会議にのみ表示され、会議に部屋を追加できます。メニューから次のオプションを選択できます。

- [Allow] : 他のエンドポイントが会議に加わるのを許可します。
- [Block] : 他のエンドポイントが会議に加わるのを阻止します。

ユーザの設定は自動的に実装され、現在のコールの間保存されます。会議が終了すると元の設定に戻ります。

会議の延長

スケジュールされた会議を延長するためのオプションが表示される場合があります。図 3-5 は、スケジュールされた会議の最後に表示される Meeting Ending 通知を示しています。会議の延長を要求する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** [Notices] ダイアログで [Extend] をタップして、[Settings] ウィンドウを開きます (図 3-6 を参照)。

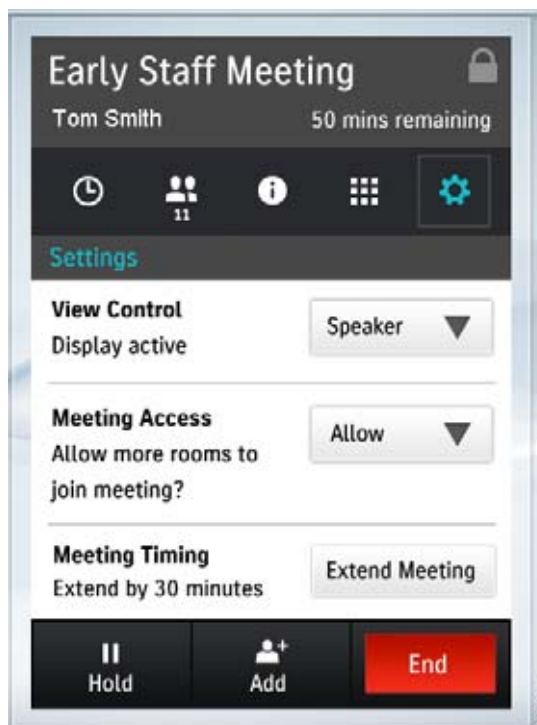
図 3-5 会議の延長通知



ステップ 2 [Settings] ウィンドウで、[Extend Meeting] ボタンをタップします。

Cisco TelePresence Touch 12 に、「Meeting has been extended」という確認メッセージが表示されます。ユーザの設定は自動的に実装され、現在のコールの間保存されます。これで、会議インスタンスに会議が延長されたことが示されます（図 3-6 を参照）。

図 3-6 会議を 30 分延長済み





ヒント

会議を延長できる時間は、管理者によって設定されます。

許容されるリソースの最大数がすでにシステムで使用されている場合、会議の要求は認められないことがあります。次のメッセージが表示されます。「Meeting not extended. System is currently at maximum number of callers」

コール中に他のアプリケーションを開く

コール中に他のアプリケーションを開くには、**ボタンバー**で目的のボタンをタップします。現在の会議は、画面の左上隅に最小化されて表示され、指定したアプリケーションの画面が表示されます（たとえば、[図 3-7](#) を参照）。進行中の会議に戻るには、[Active Call] ボタンをタップするか、最小化された会議のウィンドウをタップするか、または Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールで [Home] ボタンを押します。

次の例を参照してください。

- 「[コール中のカレンダーの確認](#)」 (P.3-10)
- 「[コール中の \[Settings\] と \[Call Status\] の確認](#)」 (P.3-11)
- 「[アクティブな会議への音声コールの追加](#)」 (P.3-11)
- 「[アクティブな会議への復帰](#)」 (P.3-14)

コール中のカレンダーの確認

会議のカレンダーを確認します ([図 3-7](#) を参照)。

図 3-7 コール中のカレンダーの確認



コール中の [Settings] と [Call Status] の確認

第4章「Cisco TelePresence Touch 12 のシステム ステータスとトラブルシューティングのヒント」の「システム ステータスの確認」(P.4-1) を参照してください。

アクティブな会議への音声コールの追加

音声コールは、次の2つの方法のいずれかで追加できます。

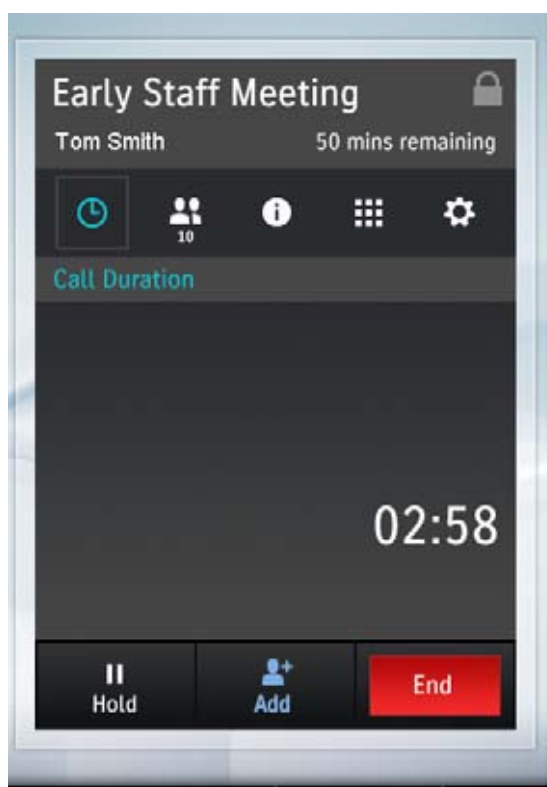
- 「会議のウィンドウの [Add] ボタンを使用」(P.3-11)
- 「ボタンバーの [Call] ボタンを使用」(P.3-13)

会議のウィンドウの [Add] ボタンを使用

会議中に新たな音声発信者を追加する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 [Add] ボタンをタップします (図 3-8 を参照)。

図 3-8 音声参加者の追加

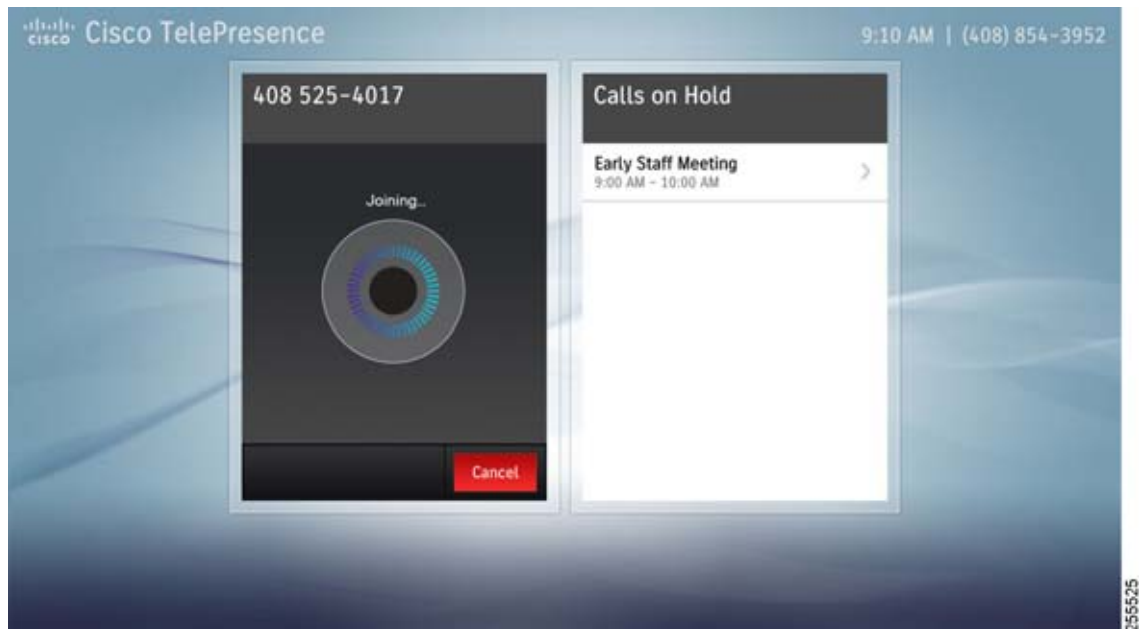


キーパッドが表示され、現在の会議が最小化されます。

■ コール中に他のアプリケーションを開く

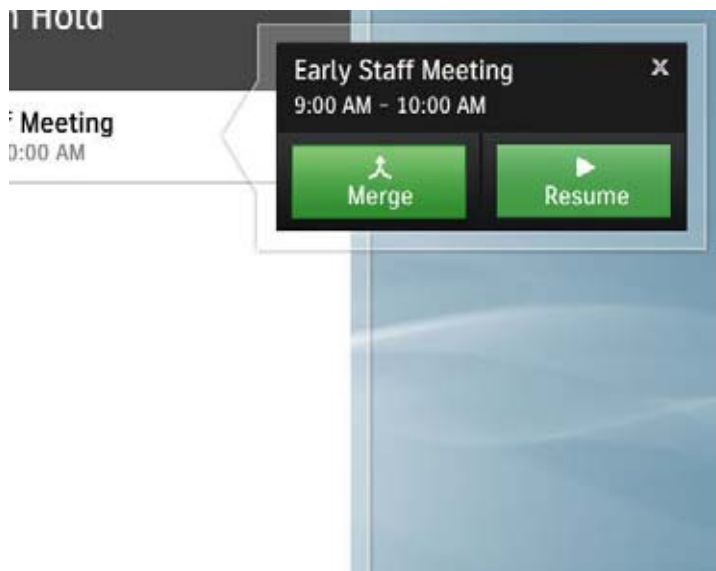
- ステップ 2** 表示されるキーパッドで、ダイヤルする番号をタップします。システムが番号をダイヤルしている間、現在の会議は保留状態になります (図 3-9 を参照)。

図 3-9 音声参加者の追加 : 番号をダイヤル中



- ステップ 3** 新しいコールが正常に接続されたら、現在の会議の会議コンテキストカードで [Merge] ボタンをタップして、そのコールを現在の会議にマージします (図 3-10 を参照)。

図 3-10 音声参加者のマージ



- ステップ 4** [Resume] をタップして自分の会議に戻ります。

ボタンの [Call] ボタンを使用

会議中に新たな音声発信者を追加する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** プライマリ ボタンの [Call] ボタンをタップします (図 3-9 を参照)。

図 3-11 [Call] ボタンからの音声参加者の追加



- ステップ 2** 表示されるキーパッドでダイヤルする番号を入力して、[Call] をタップします。システムが番号をダイヤルしている間、現在の会議は保留状態になり、左上に最小化して表示されます。
- ステップ 3** その人物の連絡先カードで [New Call] をタップします。このコールを現在の会議にマージする準備をします。

図 3-12 [New Call] ボタン



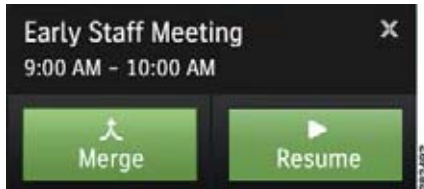
ヒント

ボタンから Call アプリケーションが開かれると、[New Call] ボタンが緑色で強調表示されます。現在のコールは保留状態になり、選択した連絡先との新しいコールがただちに開始されます。[In Call] ウィンドウの [Add] ボタンを使用して Call アプリケーションを開くと、[Add to Meeting] ボタンが緑色で強調表示されます。現在のコールは保留状態になり、新しいコールが音声専用として開始されます。そのコールは、後で現在のコールにマージすることができます。

■ コール中に他のアプリケーションを開く

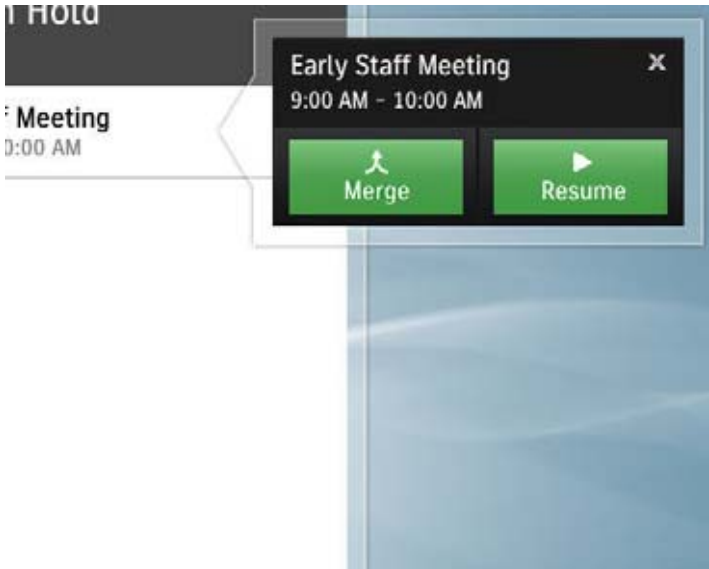
- ステップ 4** 現在の会議の会議コンテキストカードで [Merge] ボタンをタップして、新しいコールを現在の会議にマージします (図 3-13 を参照)。

図 3-13 音声参加者のマージ



- ステップ 5** [Resume] をタップして自分の会議に戻ります (図 3-14 を参照)。

図 3-14 会議の保留解除



アクティブな会議への復帰

Cisco TelePresence Touch 12 の [Home] ボタンを押すことで、アクティブな会議にすぐに復帰できます (図 3-15 を参照)。アクティブコール中でない場合は、[Home] ボタンを押すと、設定されているデフォルトの「ホーム」画面に戻ります。

図 3-15 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソール : [Home] ボタン



プレゼンテーションの共有

次のオプションから選択します。

- 「ラップトップ共有の基本」 (P.3-15)
- 「PiP 制御の使用法」 (P.3-16)
- 「プレゼンテーション プライバシーの制御」 (P.3-18)
- 「コール中でないときのプレゼンテーションの表示」 (P.3-20)
- 「複数プレゼンテーションとの共有オプション」 (P.3-21)
- 「ドキュメント カメラを使用した共有」 (P.3-22)

ラップトップ共有の基本



ヒント

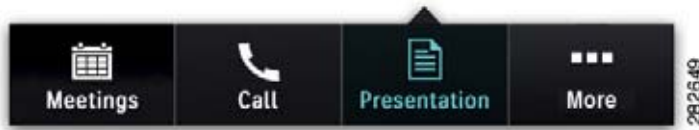
ラップトップ画面の解像度は、忘れずに 1024 x 768 に設定してください。

ラップトップ上のプレゼンテーションを共有する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 会議が始まったら、VGA ケーブルをラップトップに接続します。

■ プレゼンテーションの共有

ステップ 2 プライマリ ボタン バーで [Presentation] ボタンをタップします。



[Presentation] ウィンドウが表示され (図 3-16)、ラップトップのディスプレイが会議に参加している全員と自動的に共有されます。これで、Presentation-in-Picture (PiP) 制御を使用して、CTS メインディスプレイでのプレゼンテーションの配置とサイズを変更できます。PiP 制御の使用方法を参照してください。

図 3-16 [Presentation] 画面 : PiP 制御



PiP 制御の使用法

PiP 制御は、プレゼンテーション デバイスが共有されている場合に、コール中にのみ使用できます。プレゼンテーションのビデオ信号がない場合、次のメッセージが表示されます。「Please make sure that a laptop computer or document camera is connected and sending a signal」

プレゼンテーションが共有されているときに PiP を使用する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** [Left]、[Center]、[Right]、[Minimize]、または [Maximize] をタップして、PiP の配置とサイズを変更します (図 3-17 を参照)。

図 3-17 [Presentation] 画面 : PiP 制御



図 3-18 は、CTS メイン画面の右側にある Presentation-in-Picture の例を示しています。

図 3-18 右側にある PiP



プレゼンテーション プライバシーの制御

会議開始前に VGA ケーブルをラップトップに接続する、またはラップトップがまだ接続されている間に保留にしてから保留を解除すると、Presentation Privacy Alert が表示されます。タップして、[Presentation Privacy] 設定を選択します（ほとんどの CTS デバイスは図 3-19 を参照、CTS 500-32 のみ図 3-20 を参照）。

図 3-19 Presentation Privacy Alert : ほとんどの CTS デバイス

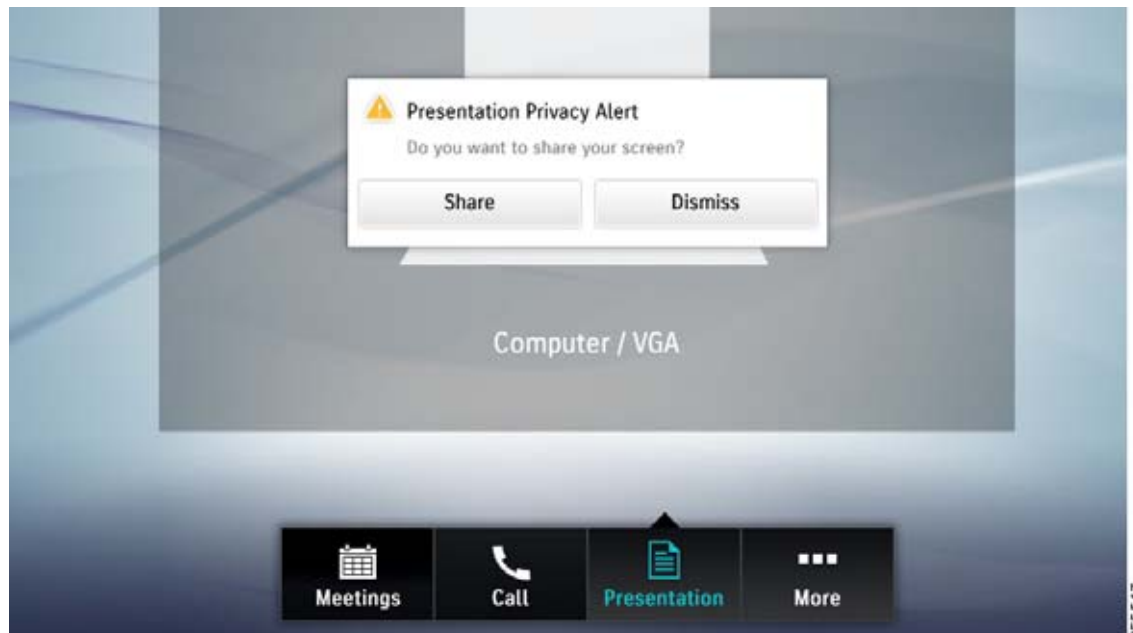


図 3-20 Presentation Privacy Alert : CTS 500-32



表 3-2 に、所有している CTS デバイスに応じて、プレゼンテーション プライバシーを制御するために使用できるボタンについて記載されています。

表 3-2 Cisco TelePresence Touch 12 PiP 制御ボタン





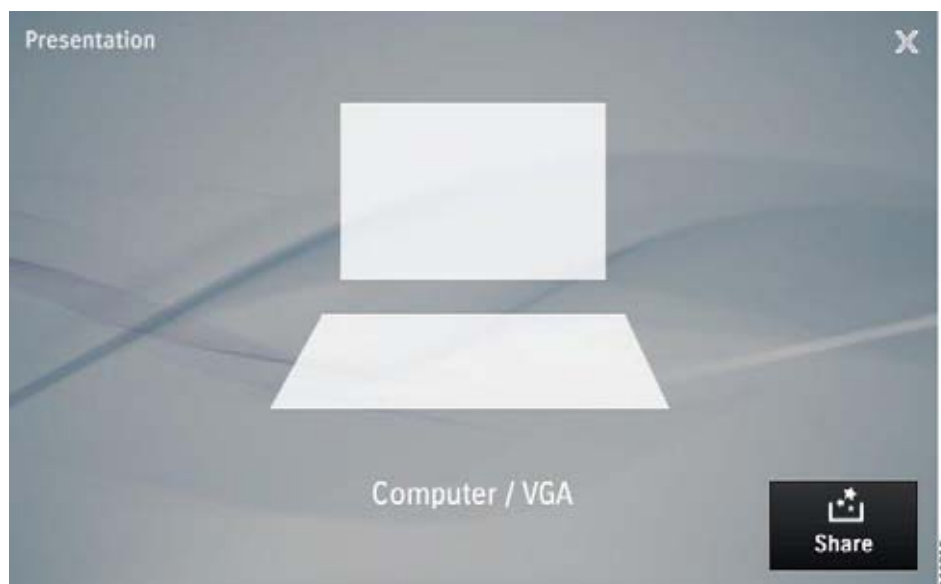
PiP ボタン	機能
	CTS 500-32 のみ：共有を [No One] に変更します。アクティブプレゼンテーション中の [Hide] ボタンのアベイラビリティの例については 図 3-21 を参照してください。
	CTS 500-32 のみ：会議全体でプレゼンテーションを共有します。アクティブプレゼンテーション中の [Share] ボタンのアベイラビリティの例については 図 3-22 を参照してください。
	CTS 500-32 のみ：共有を [No One] に変更します。
	CTS 500-32 のみ：共有を [Just Me] に変更します。

図 3-21 CTS 500-32 の [Hide] ボタン



図 3-22 CTS 500-32 の [Share] ボタン



コール中でないときのプレゼンテーションの表示

アクティブなビデオ コールがない場合、ラップトップを VGA または DVI ポートに接続してプレゼンテーションをローカルに共有できます。コンピュータのディスプレイは、システムの外部データ ディスプレイ (ある場合)、または CTS のメイン ディスプレイ 画面に自動的に投影されます。[Share] および [Hide] オプションが表示されます (図 3-21 および図 3-22 を参照)。

複数プレゼンテーションとの共有オプション

プレゼンテーションに使用できるビデオストリームが複数ある場合は、共有する接続済みのデバイスを [Presentation] ウィンドウから選択します。

- ステップ 1** プライマリ ボタンバーで [Presentation] ボタンをタップします。[Presentation] ウィンドウが表示されます (図 3-23 を参照)。



図 3-23 [Presentation] 画面



- ステップ 2** [Document Camera] または [Computer / DVI] プレゼンテーション イメージをタップして開始します。



ドキュメント カメラを使用した共有に進みます。



ラップトップ共有の基本に戻ります。

ドキュメント カメラを使用した共有

- ステップ 1** 図 3-23 で [Document Camera] イメージをタップした場合、[Document Camera] 画面が表示されます (図 3-24 を参照)。ステップ 3 に進みます。

図 3-24 [Document Camera] 画面

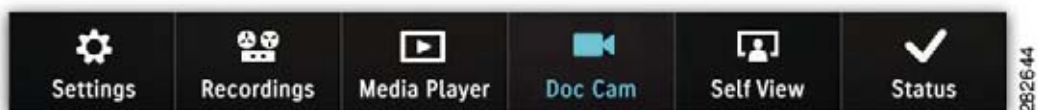


- ステップ 2** ドキュメント カメラは、次の手順を実行して開始することもできます。

- a. プライマリ ボタン バーの [More] ボタンをタップします。



- b. セカンダリ ボタン バーで [Doc Cam] ボタンをタップして、ドキュメント カメラ アプリケーションを起動します。



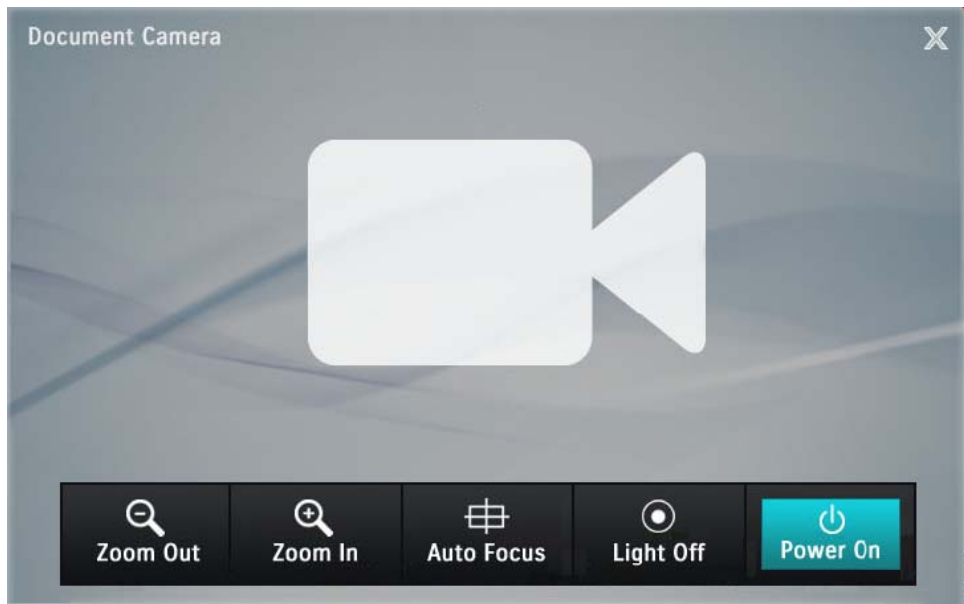


ヒント

システムにドキュメント カメラが設定されていない場合、[Doc Cam] ボタンはボタン バーに表示されません。

ステップ 3 [Document Camera] コントロール画面が表示されます (図 3-25 を参照)。

図 3-25 [Document Camera] コントロール



ステップ 4 [Power On] ボタンをタップすると、共有が自動的に開始されます。アクティブな会議がない場合、画像がローカルで表示されます。コール中でないときのプレゼンテーションの表示を参照してください。

ステップ 5 ドキュメント カメラの電源が入っている場合、表示されるボタンを使用して、[Zoom]、[Auto Focus]、および [Light] (ある場合) を制御できます。ドキュメント カメラの電源が入っていない場合、[Zoom]、[Auto Focus]、および [Light] (ある場合) ボタンは表示されません。



ヒント

オートフォーカスは完了するまで自動的に実行されます。このプロセスは手動で停止できません。

ステップ 6 [Power Off] ボタンをタップして、ドキュメント カメラの電源を切ります。

Digital Media Player の使用方法

メディア プレーヤーの Web ベースのインターフェイスを使用して、DMP の再生内容を制御します。たとえば、DVD や ESPN などのストリーミング ビデオ間で再生を切り替えることができます。詳細については、Cisco.com で、[Digital Media Players End User Guides](#) のホームページを参照してください。



ヒント

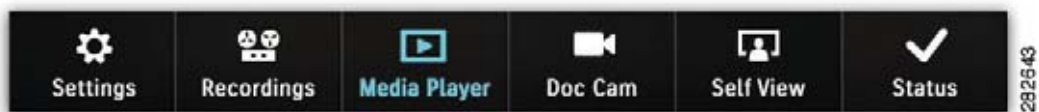
システムに DMP が設定されていない場合、セカンダリ ボタン バーには [Media Player] ボタンは表示されません。

Cisco TelePresence Touch 12 から DMP の電源を入れる手順は、次のとおりです。

ステップ 1 ボタン バーの [More] ボタンをタップします。



ステップ 2 セカンダリ ボタン バーの [Media Player] ボタンをタップして、アプリケーションを起動します。



ステップ 3 [Power On] ボタンをタップして、DMP の電源を入れます (図 3-26 を参照)。

図 3-26 DMP の電源投入



ステップ 4 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールの [Volume] ボタンを使用して、DMP の音量を調整します (図 3-27 を参照)。

図 3-27 Cisco TelePresence Touch 12 のコンソール : [Volume] ボタン



サンプル音は流れませんが、[DMP / Presentation] 音量インジケータが表示されます（[図 3-28](#) を参照）。

図 3-28 [DMP / Presentation] 音量インジケータ



■ Digital Media Player の使用方法



CHAPTER 4

Cisco TelePresence Touch 12 のシステムステータスとトラブルシューティングのヒント

内容

この章は、Cisco TelePresence Touch 12 の管理とトラブルシューティングに役立つ次の項で構成されています。

- 「システム ステータスの確認」 (P.4-1)
- 「ライブ デスクに電話をかける」 (P.4-4)
- 「Cisco TelePresence Touch 12 のユーザのヒント」 (P.4-5)
- 「Cisco TelePresence Touch 12 のタッチ スクリーンのクリーニング」 (P.4-6)

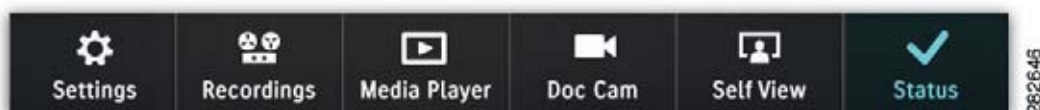
システム ステータスの確認

システム ステータス オプションにアクセスする手順は、次のとおりです。

ステップ 1 ボタン バーの [More] ボタンをタップします。セカンダリ ボタン バーが表示されます。



ステップ 2 セカンダリ ボタン バーで [Status] ボタンをタップします。



ステップ 3 メニューをタップして、次の各項目を確認します。

- 「コール ステータス」 (P.4-2)
- 「システム情報」 (P.4-2)

- 「周辺装置情報」 (P.4-3)
- 「問題のレポート」 (P.4-3)

コール ステータス

[Call Status] ウィンドウには、アクティブ コールに関する情報が表示されます (図 4-1 を参照)。

図 4-1 Call Status

System Status	Call Status
Call Status >	Resolution: 1080p
System Information >	Security: Encrypted
Peripherals >	Network Quality: 1% packet loss
Report Problem >	Network Latency: Good
	Jitter: Good
	Transmit Bitrate: 768 Mbps

915992

システム情報

[System Information] ウィンドウには、Cisco TelePresence Touch 12 とペアになっているコーデックの両方のネットワークおよびソフトウェア ステータスが表示されます (図 4-2 を参照)。

図 4-2 System Information

System Status	System Information	
	Cisco Touch	Cisco TelePresence System
Call Status >	IP Address: 10.00.000.000	10.00.000.0001
System Information >	MAC Address: FF:FF:FF:FF:FF:FF	AA:AA:AA:AA:AA:AA
Peripherals >	SW Version: Touch SW xxx	CTS SW xxx
Report Problem >	Security Mode: -	-
	DNS Server:	

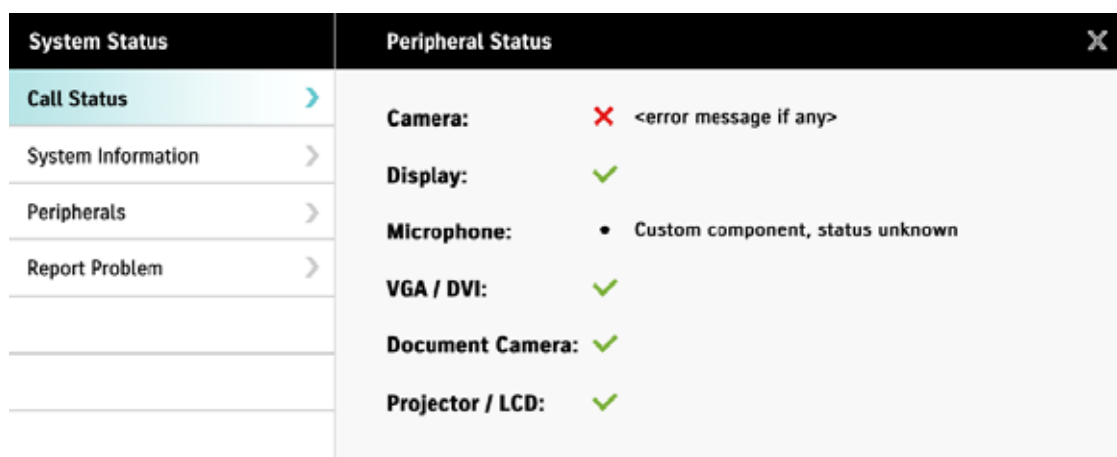
256569

周辺装置情報

[Peripheral Status] ウィンドウには、システムに接続されている周辺装置の概要が表示されます。1 スクリーン システムには 1 列のステータス アイコンがあり、3 スクリーン システムには 3 列のステータス アイコンがあります。マイク、ドキュメント カメラ、および VGA/DVI ケーブルは、1 つのアイコンで表されます。

周辺装置のステータスを示すためにアイコンが使用されています。チェック マーク アイコンは、周辺装置が良好な状態にあることを示します。X アイコンは、周辺装置に問題がある、またはエラー状態にある場合に使用されます。ドット アイコンは、周辺装置のステータスが不明な場合に使用されます。

図 4-3 Peripheral Status



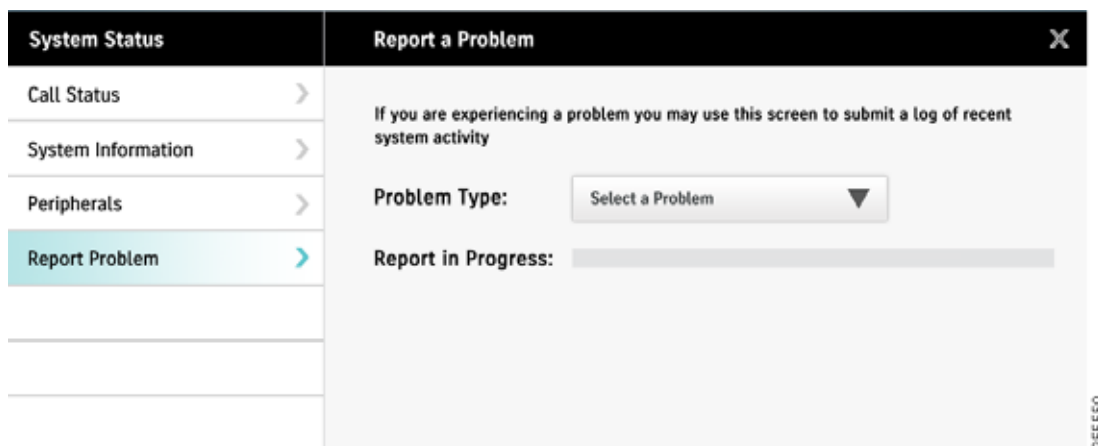
問題のレポート

Report a Problem ウィンドウ (図 4-4) では、システム ログを収集できます。

ステップ 1 [Select a Problem] フィールドを 1 回タップして、ドロップダウン メニューから次のいずれかの問題の種類を選択します。

- 音声、スピーカ、マイク
- ビデオ、ディスプレイ、カメラ
- プロジェクタ、LCD、ドキュメント カメラ
- Cisco Touch
- 録音
- その他

図 4-4 Report a Problem



- ステップ 2** [Submit] をタップして、問題に関するレポートをシスコに送信します。[Report in Progress] バーが終了すると、問題が正常に送信されたことを示すメッセージが画面に表示されます。

ライブ デスクに電話をかける

ライブ デスクは、Cisco TelePresence エンドポイントに割り当てられている番号であり、会議中に発生する可能性がある問題について支援してくれるシスコ代理店に連絡することができます。ライブ デスクに接続するには、Cisco TelePresence Touch 12 のコンソール (図 4-5) の左側にあるボタンを押します。アクティブ コール中の場合、システムがライブ デスクの番号にダイヤルしている間、そのコールは保留状態になります。



(注)

ライブ デスクがシステムに割り当てられていない場合、メイン ディスプレイの画面に次のメッセージが表示されます。「There is no Live Desk number configured」

Cisco TelePresence システム管理者に連絡して、ライブ デスクの割り当てを依頼してください。

図 4-5

Cisco TelePresence Touch 12 のコンソール : ライブ デスク ボタン



Cisco TelePresence Touch 12 のユーザのヒント

表 4-1 に、Cisco TelePresence Touch 12 の使用方法に関するヒントが記載されています。

表 4-1 役立つヒント

ヒント	説明と回避策	✓
タッチ スクリーンのエントリはゆっくりタップする。	タッチ スクリーン上の機能はゆっくりタップします。たとえば、番号のダイヤル中やメニューのナビゲート中にボタンのタップを急ぎすぎると、システムの反応が遅れることがあります。 システムの反応が遅い、またはフリーズしているように思える場合は、数秒待つか、または別の機能をタップすると戻ります。	
ディレクトリ リストのロードに時間がかかることがある。	ディレクトリ検索機能を使用している場合、 Directory のロードに数秒かかることがあります。検索が完了するまで、「...loading」のメッセージが表示されます。	
タッチ スクリーンの電源が切れない。	これは、Cisco TelePresence Touch 12 の想定されている動作です。勤務時間後や、システムがしばらくアイドルだった場合でも同じです。	
カレンダーを勤務時間後に使用できない。	23:00 以降に Cisco TelePresence Touch 12 または CTS をリポートすると、システムにスケジュールされた会議がない場合、24:00 まで、カレンダーの [Available Time] ヘッダーは空になり、カレンダー画面はブランクになります。リポート後、その時間内に新しい会議がスケジュールされた場合、それはカレンダーに表示されます。	

表 4-1 役立つヒント (続き)

ヒント	説明と回避策	✓
コンソールから自分のコールをミュートする。	Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールの [Mute] ボタンを押して、会議中に自分自身をミュートします。ミュートを解除するには、[Mute] ボタンを再度押します。 コールのミュート を参照してください。	
コンソールまたはタッチ スクリーンからコール音量を調整する。	Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールの [Volume] ボタンを押して、会議中に音量を調整します。タッチ スクリーンで、[More] > [Settings] > [Meeting Volume] をタップして、会議の音量を調整することもできます。 Meeting Volume を参照してください。	
ドキュメント カメラのメニュー ボタンの一部が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ドキュメント カメラが、管理者によって自分のシステムに設定されていることを確認してください。 ドキュメント カメラのモデルを交換した場合は、CTS をリセットして、システムが新しいカメラを認識できるようにしてください。 	
Digital Media Player (DMP) が勤務時間後に作動しない。	これは想定されている動作です。今後のリリースでは、勤務時間後の DMP の使用がサポートされる予定です。	
Cisco TelePresence Touch 12 を使用した録音	会議の録音準備中に [Recording] ウィンドウが開いている場合、Cisco TelePresence Touch 12 の [Active Meeting] 画面が一瞬点滅することがあります。これは表面的な問題であり、数秒で修正され、機能には影響を及ぼしません。	

Cisco TelePresence Touch 12 のタッチ スクリーンのクリーニング

指紋や汚れを拭き取るには、糸くずの出ない乾燥した清潔なマイクロファイバの布や、iKlear などの製品を使用します。



CHAPTER 5

Cisco TelePresence Touch 12 を使用した録音の管理

内容

- 「Recording Server へのログイン」 (P.5-1)
- 「会議の録音」 (P.5-5)
- 「ビデオの確認」 (P.5-10)
- 「ビデオの共有」 (P.5-12)
- 「Show and Share へのビデオの保存」 (P.5-16)
- 「[My Videos] に保存されている録音の管理」 (P.5-18)
- 「[Shared With Me] 内のビデオの管理」 (P.5-22)
- 「パブリック ビデオの管理」 (P.5-23)
- 「Cisco TelePresence Touch 12 での録音のヒント」 (P.5-23)

Recording Server へのログイン

Cisco TelePresence Touch 12 を使用して、Cisco TelePresence Recording Server にログインする手順は、次のとおりです。

ステップ 1 プライマリ ボタン バーの [More] ボタンをタップします。



ステップ 2 セカンダリ ボタン バーの [Recordings] ボタンをタップします。



キーボードがアクティブになっている [Recording Log In] ページが表示されます (図 5-1 を参照)。

図 5-1 Recording Log In



- ステップ 3** [Username] フィールドを 1 回タップしてキーボードを表示し、自分のユーザ名をタップします。
[Username] フィールドは入力すると同時に更新されます。

**ヒント**

ユーザ名を記憶するように、Recording Server を設定できます。[Cisco TelePresence Video Portal](#) での [PIN の設定](#) を参照してください。

- ステップ 4** [PIN] フィールドを 1 回タップしてキーパッドを表示し、自分の PIN をタップします (図 5-2 を参照)。

図 5-2 [Recording Log In] : [PIN] フィールド



Recording Server への初回ログイン時には、[Recording Log In] ウィンドウに表示されている URL にアクセスして、新しい PIN を作成します。Cisco TelePresence Video Portal で次の手順を実行します。

Cisco TelePresence Video Portal での PIN の設定

- a. [Continue to this website] をクリックします。



ヒント Cisco TelePresence Video Portal を使用するには Adobe Flash Player が必要です。プロンプトが表示されたら、[Yes] をクリックして Adobe Flash Player をインストールします。チェックボックスをオンにして Flash Player の使用許諾契約書に同意して、[Install] をクリックします。[Done] をクリックして、インストールを完了します。

- b. ユーザ名を入力し、繰り返しでない不連続の 6 桁で構成されるパスワードを選択します。
- c. チェックボックスをオンにして、システムにユーザ名を記憶させます。
- d. Cisco TelePresence Video Portal でのユーザ設定の設定が完了したら、Cisco TelePresence Touch 12 に戻り、ログインプロセスを続行します。

ステップ 5 数字キーパッドを使用して自分の PIN をタップします。6 桁を入力し終わると、数字キーパッドは自動的に閉じます。

ステップ 6 [Log In] をタップします。ログイン画面が表示されます (図 5-3 を参照)。

図 5-3 [Recordings] へのログイン



ステップ 7 ログインが完了すると、[My Videos] タブが選択された状態の [Recordings] ウィンドウが表示されます (図 5-4 を参照)。

図 5-4 [Recordings] ウィンドウ



ステップ 8 [My Videos] タブから次のいずれかのタスクに進みます。

- 「会議の録音」 (P.5-5)
- 「ビデオの確認」 (P.5-10)
- 「ビデオの共有」 (P.5-12)

- 「[My Videos] に保存されている録音の管理」 (P.5-18)

会議の録音

会議のビデオを録音する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** [New Recording] ボタンをタップします。[Connecting] 画面が表示されます (図 5-5 を参照)。

図 5-5 Recording Server に接続中



[Recording] 画面が表示されます (図 5-6 を参照)。デフォルトでは、セルフ ビューは録音を開始する前に自動的にポップアップし、録音が始まると自動的に閉じます。

図 5-6 [Recordings] 画面



ステップ 2 必要に応じて、プレゼンテーション（システムで使用可能な場合）を準備し、[Preferences] ボタンをタップして、他のユーザ設定の設定を調整します。図 5-7 には、次のような、選択可能な [Preference] オプションが示されています。

- [Show self view] : 録音中に自分自身を確認できます。
- [Show presentation when connected (instead of self view)] : プレゼンテーションは、録音中にトークポイントとして画面上に表示されますが、録音はされません。
- [Record presentation when connected] : ビデオとプレゼンテーションを一緒に録音します。
- [Show 5-second countdown before recording] : 録音開始前に、画面上のタイマーで秒数がカウントダウンされます。

ステップ 3 必要なオプションのボックスをオンにして選択し、[Save] をタップします。

図 5-7 User Preferences



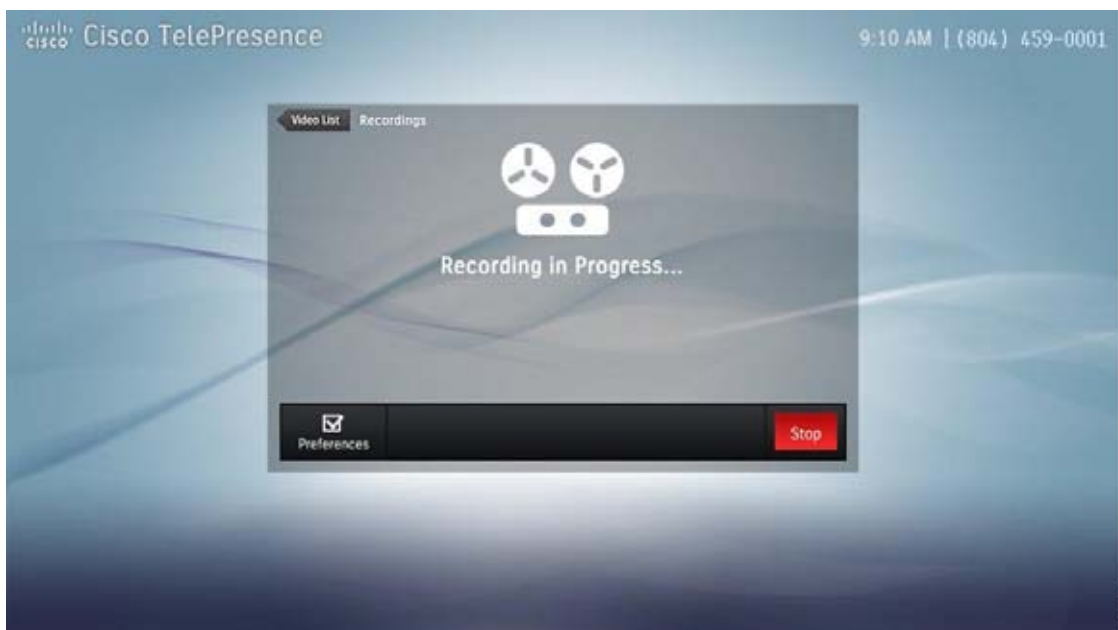
ステップ 4 録音の開始準備が整ったら、[New Recording] ボタンをタップします（図 5-6 を参照）。

システムが Cisco TelePresence Recording Server に接続している間、[Connecting] 画面が表示されます。Cisco TelePresence Touch 12 に [Recording in Progress] 画面が表示されます（図 5-8 を参照）。

**ヒント**

録音の準備ができていない場合は、[Video List] 矢印をタップして [My Videos] タブに戻ります。サインアウトせずに [Recordings] ウィンドウを閉じるには、右上隅にある [X] をタップします。録音機能を完全に終了するには、[Sign Out] をタップします。

図 5-8 Recording in Progress



ステップ 5 録音を終了する場合は必ず [Stop] ボタンをタップします。[Finishing] 画面が表示されます (図 5-9 を参照)。完全に終了するまで、最大 1 分かかることがあります。

図 5-9 録音終了中



ステップ 6 [Edit Information] ウィンドウ (図 5-10) で、[Video Title] フィールドをタップしてキーボードを表示し、ビデオのタイトルを入力します。ビデオにタイトルを付けない場合は、「Untitled Video」というラベルが付けられます。

図 5-10 ビデオ タイトルの入力



ステップ 7 [Viewable by:] カラムでオプションをタップしてビデオを視聴できるユーザを選択し、[Save] ボタンをタップします。

**ヒント**

[Only users you share with] オプションには、Cisco TelePresence Recording Server Portal に事前に設定されているユーザのリストも含まれます。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ビデオを保存すると、確認画面が表示されます (図 5-11 を参照)。

図 5-11 ビデオ情報



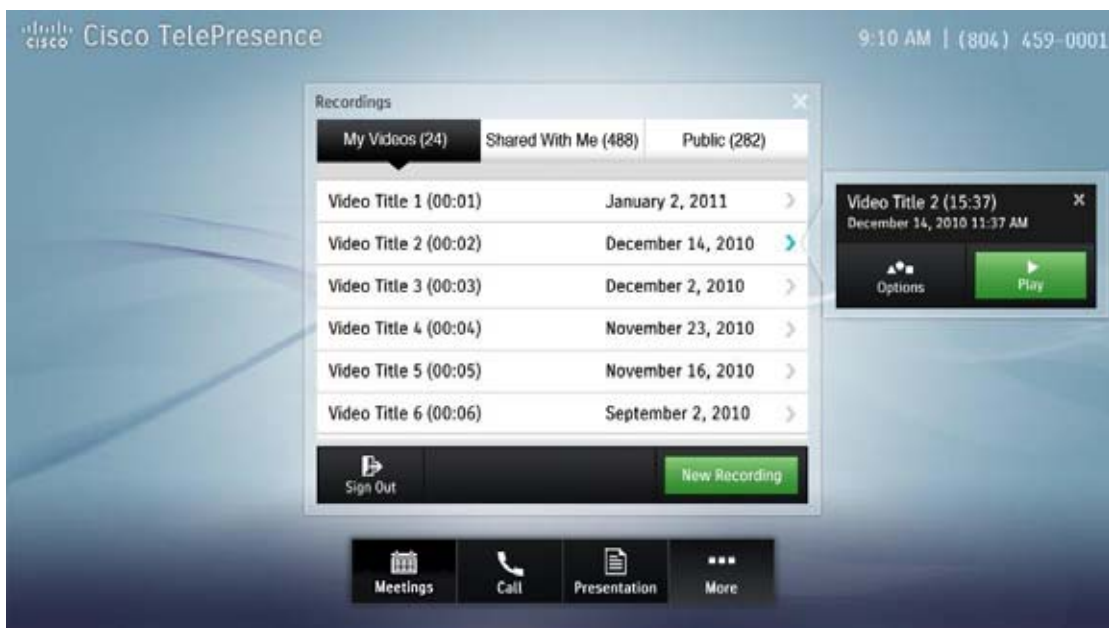
新しいビデオの管理方法は複数の方法から選択できます。詳細については、この章の次の項を参照してください。

ビデオの確認

ビデオを確認する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** [Recordings] > [My Videos] リストで、確認するビデオをタップして選択します。選択したビデオの Video Card が表示されます (図 5-12 を参照)。

図 5-12 Video Card : ビデオの再生



ステップ 2 Video Card の [Play] ボタンをタップします。ビデオがロードされます (図 5-13 を参照)。

図 5-13 ビデオのロード



ステップ 3 CTS のメイン ディスプレイでビデオの再生が始まります。ビデオの再生に合わせて、Cisco TelePresence Touch 12 に経過表示バーが表示されます。ビデオは、早送り、巻き戻し、一時停止、および再開することができます (図 5-14 を参照)。

図 5-14 ビデオの再生



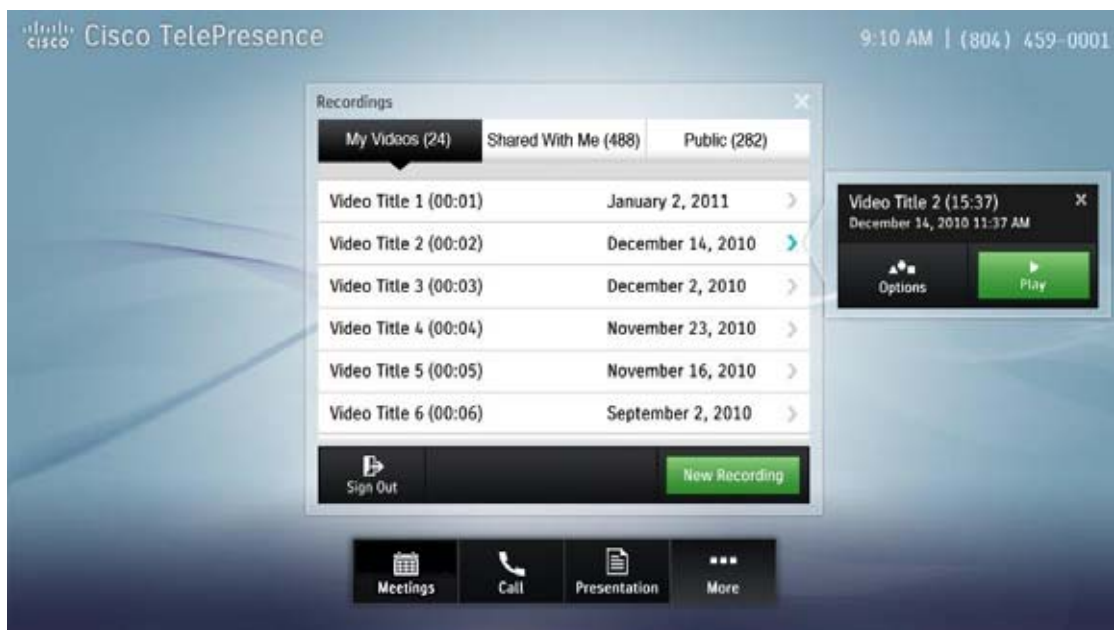
ステップ 4 ビデオの再生を停止するには、[Stop] ボタンをタップします。

ビデオの共有

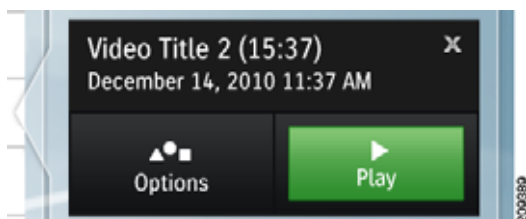
ビデオを共有する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 [Recordings] > [My Videos] リストで、共有するビデオをタップして選択します。選択したビデオの Video Card が表示されます (図 5-15 を参照)。

図 5-15 Video Card: 共有オプション



ステップ 2 [Options] ボタンをタップして、ビデオの詳細画面を表示します。



ステップ 3 次に、[Share] ボタンをタップします (図 5-16 を参照)。

図 5-16 ビデオの共有



Cisco TelePresence Recording Server Portal に事前に設定されているユーザのリストがある場合、それらは [Share Video] ウィンドウに表示されます (図 5-17 を参照)。

図 5-17 ビデオの共有 : Favorites



- ステップ 4** 連絡先名の隣にあるボックスをタップしてチェックを入れて、[Save] ボタンをタップします。
- ステップ 5** Cisco TelePresence Recording Server Video Portal 内のリストに存在しないユーザと共有する場合は、[New Email] ボタンをタップしてキーボードを表示します。
- ステップ 6** 新しい連絡先電子メールをタップします。入力すると同時に [email] フィールドが更新されます (図 5-18 を参照)。



ヒント

`contactname@yourcompany.com` の形式で、完全な電子メール アドレスを入力する必要があります。

図 5-18 ビデオの共有：新規電子メールの入力



ステップ 7 新しい連絡先エントリーを保存する前に、[Edit Privacy] ボタンをタップして、ビデオを視聴できるユーザを選択できます（図 5-19 を参照）。

図 5-19 情報の編集



Show and Share へのビデオの保存

- ステップ 8** [Edit Privacy] ウィンドウで [Save] ボタンをタップしてプライバシー設定を保存し、[Share Video] ウィンドウで [Save] をタップして新しい連絡先電子メールを保存します。
- [New Email] ボタンをタップして、電子メール アドレスを入力して、新しい連絡先の追加を続けることもできます。



ヒント

電子メール エントリがシステム内で確認されると、キーボードは自動的に閉じます。電子メールが確認されない場合、エラー メッセージが表示され、キーボードは開いたままになり、再度入力することができます。

Show and Share へのビデオの保存

Show and Share サーバに保存する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** [Recordings] > [My Videos] リストで、Show and Share に保存するビデオをタップして選択します。選択したビデオの Video Card が表示されます (図 5-15 を参照)。

図 5-20 Video Card : Options



- ステップ 2** [Options] ボタンをタップして、ビデオの詳細画面を表示します (図 5-21 を参照)。

図 5-21 ビデオの共有



ステップ 3 [Save To] ボタンをタップして、[Save to Show and Share] ウィンドウを表示します (図 5-22 を参照)。

図 5-22 Show and Share への保存：情報の編集



ステップ 4 [Video Title] フィールドをタップしてビデオ タイトルを編集します。キーボードが表示され、入力すると同時にフィールドに入力されます。

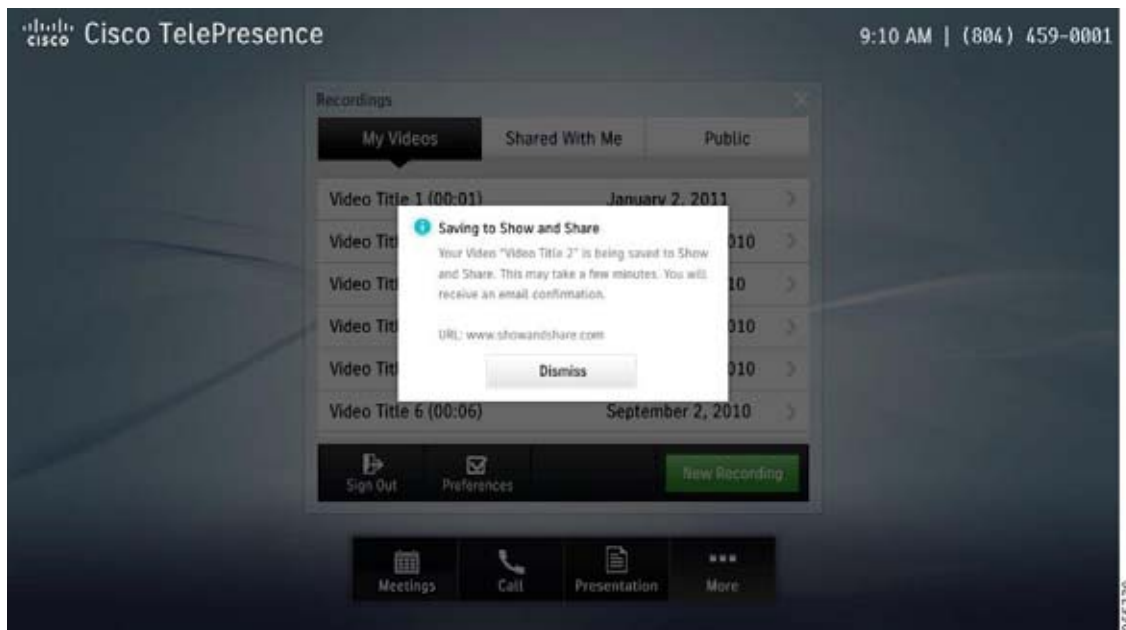
選択可能なオプション ボタンを 1 つタップして [Video Status] 設定を選択し、[Save] ボタンをタップします。保存したビデオを検索できる場所を示す確認画面が表示されます (図 5-23 を参照)。



ヒント

ビデオの保存には数分かかることがあります。

図 5-23 Show and Share への保存



245779

ステップ 5 [Dismiss] ボタンをタップして、ダイアログを閉じます。

[My Videos] に保存されている録音の管理

ビデオの管理は次の方法で行います。

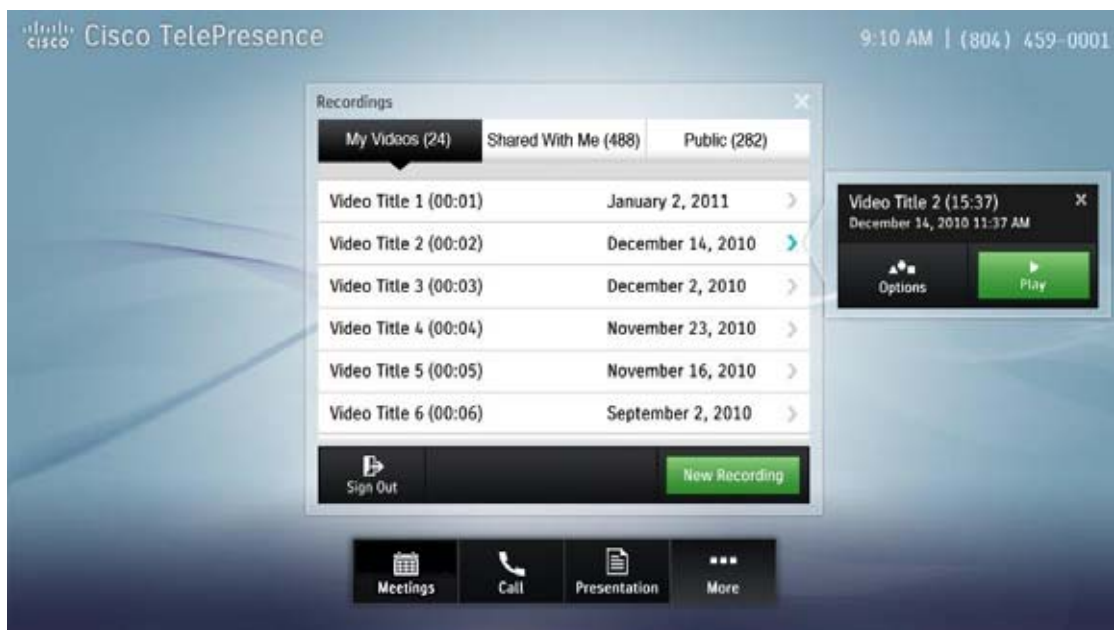
- 「[My Videos] のビデオの編集」(P.5-18)
- 「[My Videos] からのビデオの削除」(P.5-20)

[My Videos] のビデオの編集

[My Videos] のビデオを編集する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 [Recordings] > [My Videos] タブで、編集するビデオをタップして選択します。選択したビデオの Video Card が表示されます (図 5-24 を参照)。

図 5-24 Video Card : Options



ステップ 2 [Options] ボタンをタップして、ビデオの詳細画面を表示します (図 5-25 を参照)。

図 5-25 ビデオの編集



ステップ 3 [Edit] ボタンをタップして、[Edit Information] ウィンドウを表示します。ビデオ タイトルを変更するか、または表示の設定を選択します (図 5-26 を参照)。

図 5-26 ビデオ情報の編集



ステップ 4 [Save] をタップして設定を保存します。

[My Videos] からのビデオの削除

[My Videos] のビデオを削除する手順は、次のとおりです。

ステップ 1 [Recordings] > [My Videos] タブで、削除するビデオをタップして選択します。選択したビデオの Video Card が表示されます (図 5-27 を参照)。

図 5-27 Video Card : Options



ステップ 2 [Options] ボタンをタップして、ビデオの詳細画面を表示します (図 5-27 を参照)。

図 5-28 ビデオの削除



ステップ 3 [Delete] ボタンをタップします。確認メッセージが表示され、ビデオリストに戻ります。

[Shared With Me] 内のビデオの管理

[Shared With Me] のビデオを再生または削除する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** [Recordings] > [Shared With Me] タブで、再生または削除するビデオをタップして選択します。選択したビデオの Video Card が表示されます (図 5-29 を参照)。

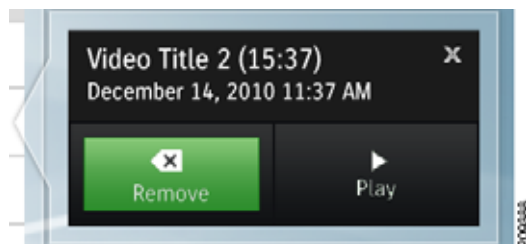
図 5-29 [Shared With Me] リスト内の録音



- ステップ 2** Video Card の [Play] ボタンをタップします (図 5-29 を参照)。

または、

- ステップ 3** Video Card の [Remove] ボタンをタップします。



パブリック ビデオの管理

パブリック ビデオを再生する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** [Recordings] > [Public] タブで、再生するビデオをタップして選択します。選択したビデオの Video Card が表示されます。
- ステップ 2** [Play] をタップしてビデオを再生します。



Cisco TelePresence Touch 12 での録音のヒント

表 5-1 に、Cisco TelePresence Touch 12 の録音機能を使用する場合のシステム上のヒントが記載されています。

表 5-1 録音のヒント

ヒント	説明と回避策	✓
着信コールはボイスメールに直接転送される。	会議の録音中、着信コールはボイスメールに直接転送されます。	



CHAPTER 6

Cisco TelePresence Touch 12 のシステムアラートおよび会議に関するメッセージ

内容

次のアラートが Cisco TelePresence Touch 12 に表示される場合があります。

- 「ラップトップ コンピュータの画面解像度に関するメッセージ」 (P.6-1)
- 「プレゼンテーションのビデオ信号に関するリマインダ」 (P.6-2)
- 「会議に関するメッセージ」 (P.6-3)
- 「コール制御に関するメッセージ」 (P.6-3)
- 「システムおよびトラブルシューティングに関するメッセージ」 (P.6-5)
- 「記録サーバに関するメッセージ」 (P.6-6)

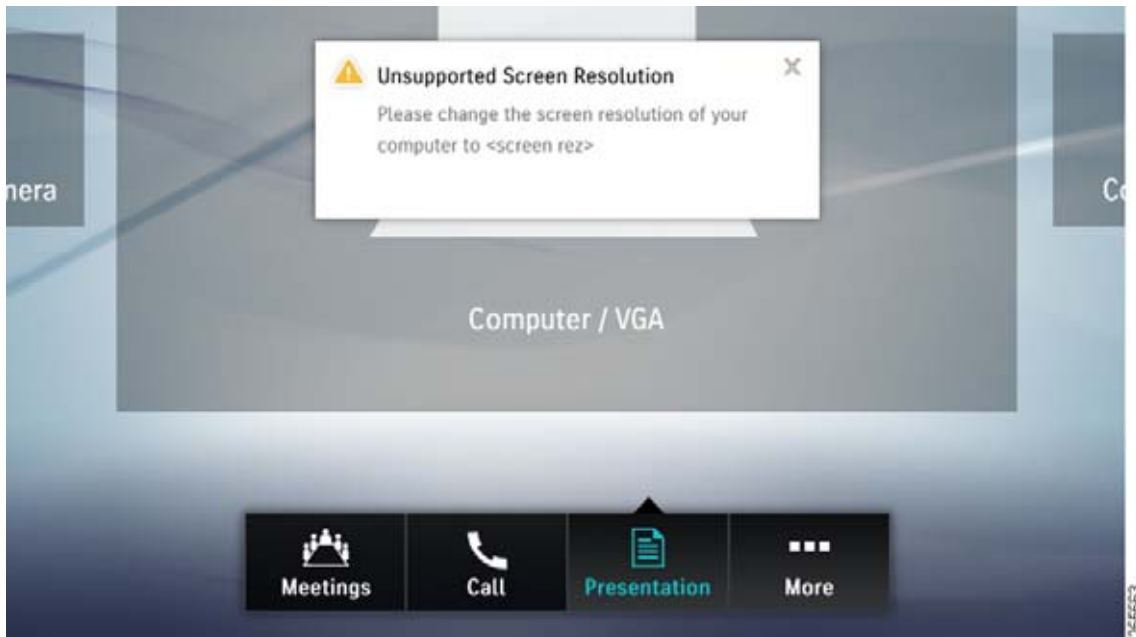
ラップトップ コンピュータの画面解像度に関するメッセージ

表 6-1 に、画面解像度に関するメッセージを示します。

表 6-1 Cisco TelePresence Touch 12 の解像度に関する画面上のメッセージ

アラートアイコン	画面上のメッセージ	このメッセージが表示される場合	推奨処置
	Change Screen Resolution: To share presentation in a call, change the screen resolution of your computer to 1024x768.	ボタンバーの [Self View] ボタンをタップしたとき、またはセルフビュー前またはセルフビュー中に 1080p プレゼンテーション デバイスを接続したとき。	ラップトップ コンピュータの画面解像度を変更します。
	Unsupported Screen Resolution: Please change the screen resolution of your computer to 1024x768.	推奨画面解像度を使用していないプレゼンテーション デバイス (ラップトップ コンピュータ) を接続したとき。	プレゼンタのラップトップ コンピュータの画面解像度を変更します。 このメッセージの例については、 図 6-1 を参照してください。

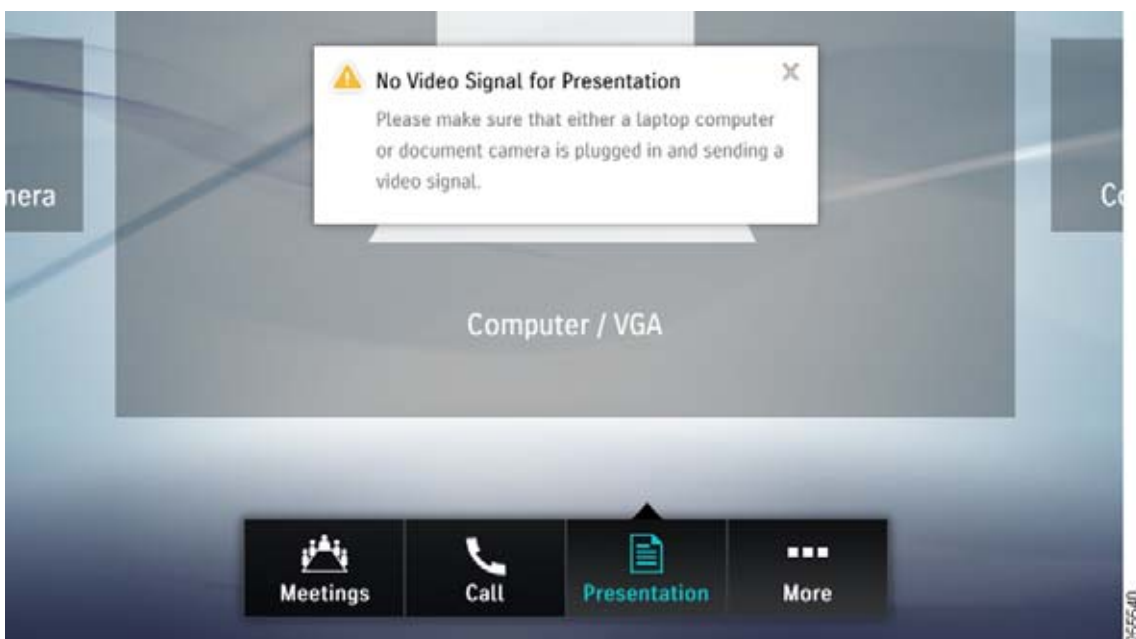
図 6-1 画面解像度に関するメッセージ



プレゼンテーションのビデオ信号に関するリマインダ



プレゼンテーション機能を使用する場合は、ラップトップ コンピュータまたは ドキュメント カメラを必ず接続してください。図 6-2 に示すように、接続するよう注意を促すメッセージが表示されます。

図 6-2 プレゼンテーションのビデオ信号に関するメッセージ



会議に関するメッセージ

表 6-2 Cisco TelePresence Touch 12 の会議に関する画面上のメッセージ

アラートアイコン	画面上のメッセージ	このメッセージが表示される場合	推奨処置
	Upcoming meeting: <Meeting name, start, and end time>	新しい会議が 10 分後に開始される予定であるが、アクティブな会議中またはコールが保留中のとき。	新しい会議を開始するための準備をします。
	This meeting includes only this Cisco TelePresence room.	会議リストの [Join] ボタンをタップしたが、この会議に招待される Cisco TelePresence 会議室が他にないとき。	特に対処の必要はありません。
	This meeting is not properly scheduled. Contact the meeting organizer.	[Join] ボタンをタップして正しくスケジュールされていないマルチポイント会議に参加しようとしたとき。	会議主催者に連絡してください。
	<ul style="list-style-type: none"> Unable to connect to WebEx. Unable to add WebEx to this meeting. 	会議リストの [Join] ボタンをタップしたが、WebEx がダウンしているとき。	会議主催者に連絡してください。

コール制御に関するメッセージ

表 6-3 Cisco TelePresence Touch 12 のコール制御に関する画面上のメッセージ






アラートアイコン	画面上のメッセージ	このメッセージが表示される場合	推奨処置
	Meeting will end in one minute, because there are no other participants in the meeting.	10 分間定例会議またはスケジュール会議の唯一の参加者であったとき。	特に対処の必要はありません。
	"<meeting name>" is scheduled to end in 10 minutes.	会議が 10 分後に終了し、会議を延長できないとき。	特に対処の必要はありません。現在の会議が終了するか、会議アプリケーションを開くと、アラートは自動的に消えます。
	"<meeting name>" is scheduled to end in 10 minutes. You can extend this meeting by 30 minutes.	会議が会議延長プレミアム ユーザによってスケジュールされているとき (保証延長)。	特に対処の必要はありません。現在の会議が終了するか、会議アプリケーションを開くと、アラートは自動的に消えます。
	"<meeting name>" is scheduled to end in 10 minutes. You can request a 30 minute extension.	会議に「ベスト エフォート」の会議延長を使用できるとき。	タップして 30 分の会議延長を要求します。
	Extended "<meeting name>" will end in 10 minutes.	延長された会議が終了しようとしているとき。	特に対処の必要はありません。
	You are the only meeting participant. The connection to <static number> will disconnect in 1 minute.	定例会議の唯一の参加者である場合にアイドル タイムアウトが発生したとき。	特に対処の必要はありません。

表 6-3 Cisco TelePresence Touch 12 のコール制御に関する画面上のメッセージ (続き)

アラート アイコン	画面上のメッセージ	このメッセージが表示される場合	推奨処置
	Unable to put call on hold.	[Hold] ボタンをタップしたとき。	
	Unable to resume call.	コールを保留にした後で、 [Resume] ボタンをタップしたとき。	
	The call was disconnected because of network congestion.	ネットワークの輻輳またはエンドポイントのパケット損失が発生したとき。	管理者に連絡してください。
	System is currently at maximum number of callers.	[Meeting Extension] ボタンをタップしたが、リソースが使用できないため要求が受け付けられないとき。	特に対処の必要はありません。
	The call was disconnected due to network congestion. Please try your call again later.	ネットワークの輻輳が発生したとき。	しばらくしてからコールを再試行します。
	The call was disconnected due to a system issue.	システムに問題が発生したとき。	管理者に連絡してください。
	The call was disconnected due to a compatibility issue.	別のデバイスとの相互運用性の問題が発生したとき。	管理者に連絡してください。
	The call was disconnected due to a configuration issue.	デバイス間で設定の不一致があるとき。	管理者に連絡してください。
	The call was disconnected, because the system is at maximum number of callers.	リソースが使用できないとき。	管理者に連絡してください。
	The call was disconnected, because the security setting of the call has changed.	デバイス間でセキュリティ ミスマッチがあるとき。	管理者に連絡してください。
	Please check the number and dial again.	かけようとしている電話番号が無効なとき。	[Dismiss] をタップしてコールトーンを終了します。

システムおよびトラブルシューティングに関するメッセージ

表 6-4 Cisco TelePresence Touch 12 のシステムに関する画面上のメッセージ

アラートアイコン	画面上のメッセージ	このメッセージが表示される場合	推奨処置
	Troubleshooting is in progress.Calls cannot be made or received.	システムがトラブルシューティングモードのとき。	コールを発信または受信するには、[Override] をタップしてトラブルシューティングを終了します。
	The system is restarting.Please wait.	システムが再起動中のとき、システムをリポートする必要があるとき、管理者がシステムのロケールを変更したとき、または開始に失敗したとき。	再起動/リポートプロセスが完了するまで待つからシステムを使用します。
	The system is upgrading.Please wait.	自動ソフトウェア アップグレードを受信したとき。	アップグレードが完了するまで待つからシステムを使用します。
	Attempting to connect with the system.Please wait a moment.	Unified Infrastructure Manager (UIM) への接続が確立されていないとき。	接続されるまで待つからシステムを使用します。
	The software for the touchscreen device needs to be updated.Please wait for the device to restart.	デバイス間でソフトウェアの不一致があるとき。	再起動するまで待つか、システム管理者に連絡してください。
	There is an issue reading the system software.Please contact your system administrator for assistance.	デバイス間でソフトウェアの不一致があるとき。	再起動するまで待つか、システム管理者に連絡してください。
	The system is unable to place or receive calls at this time.Please contact your system administrator for assistance.	UIM への接続が失われたとき。	管理者に連絡してください。
	Calls not possible: TelePresence calls are not possible at this time.Please wait for the system to restore.This may take a few minutes.If you continue to experience this issue, contact your system administrator for assistance.	<ul style="list-style-type: none"> システムのカメラが動作していない。 システムが Unified CM に登録されていない。 コール サービスが停止されている。 	管理者に連絡してください。
	Please contact your system administrator for assistance.	システムに未知のエラーが発生したとき。	管理者に連絡してください。

記録サーバに関するメッセージ

表 6-5 Cisco TelePresence Touch 12 の記録サーバに関する画面上のメッセージ




アラートアイコン	画面上のメッセージ	このメッセージが表示される場合	推奨処置
	Your video "<video title>" is being saved to Show and Share. This might take a few minutes. You will receive an email confirmation. URL: <Show and Share URL>	ビデオを Show and Share に保存し、[Share] をタップしたとき。	特に対処の必要はありません。
	Your video has been successfully shared.	ビデオが共有されているとき。	特に対処の必要はありません。通知は自動的に消えます。
	To record your presentation please change the screen resolution of your computer to 1024x768.	プレゼンテーションのソースが XGA でなく、プレゼンテーションを記録するプリファレンスが選択されているとき。	ラップトップ コンピュータの画面解像度を変更します。
	Are you sure you want to delete your video "<video title>"?	記録の完了後または [Options] を開いたときに、記録段階で [Delete] ボタンをタップしたとき。	[Delete] または [Cancel] をタップします。

表 6-5 Cisco TelePresence Touch 12 の記録サーバに関する画面上のメッセージ (続き)

アラートアイコン	画面上のメッセージ	このメッセージが表示される場合	推奨処置
	Invalid username or password. Please try again.	ログイン資格情報が認識されなかったとき。	ユーザ名とパスワードをもう一度入力します。
	<ul style="list-style-type: none"> The email address does not include a username. The email address includes too many at signs (@). The email address contains invalid characters. The domain in the email address is incorrectly formatted. The IP domain in the email address is incorrectly formatted. The domain in the email address cannot have consecutive periods. The email address does not include an at sign (@). The domain in the email address does not include a period (. 	誤った形式の新しい電子メールアドレスでビデオを共有しようとして [Share] または [New Email] をタップしたとき。	入力間違いがないか確認してから、もう一度実行します。
	Recording Server Not Available: Please try again later. If you continue to experience this issue, contact your system administrator for assistance.	次のいずれかが発生しているとき。 <ul style="list-style-type: none"> 記録サーバが使用できない。 記録の開始に失敗した。 記録情報の取得に失敗した。 記録の再生に失敗した。 プライバシー設定の取得に失敗した。 	管理者に連絡してください。
	This video cannot be played on a TelePresence System. Contact your system administrator for assistance.	Common Intermediate Format (CIF) ビデオを選択し、[Play] を押したとき。	管理者に連絡してください。
	Maximum number of users are recording video. Please try again later.	記録を開始しようとしたが、記録サーバが一度に可能なセッションの最大数に達していたとき。	しばらく待ってから記録を試行します。
	Maximum number of users are playing video. Please try again later.	記録を再生しようとしたが、記録サーバが一度に可能なセッションの最大数に達していたとき。	しばらく待ってから再生を試行します。
	Recording server has reached maximum storage capacity. Please contact your system administrator for assistance.	記録を開始しようとしたが、記録サーバにディスク容量が残っていないとき。	管理者に連絡してください。
	Connection Lost: The system is unable to record video at this time. Please contact your system administrator for assistance.	ビデオを録画しようとしているときに記録サーバとの接続が失われたとき。	管理者に連絡してください。

■ 記録サーバに関するメッセージ



ヘルプ

OL-24243-01-J

A

[Answer] ボタン Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールの右中側にあります。着信コールに応答するには 1 回押します。アクティブ コールを終了するには 1 回押します。[コールへの応答](#)を参照してください。[Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタン](#)も参照してください。

C

Cisco TelePresence 会議 Cisco TelePresence コールによって接続された複数のエンドポイント。

Cisco WebEx 対応 コール Cisco WebEx オンライン会議機能をサポートするよう設定されているコール。統合電話会議、モバイル アクセス、音声会議、デスクトップ共有、オンライン記録などの機能があります。

CTMS [Cisco TelePresence Multipoint Switch](#)。複数の[エンドポイント](#)にまたがる 1 回の会議で最大 48 のロケーションの音声起動スイッチングをサポートします。

CTRS [Cisco TelePresence Recording Server](#)。既存の Cisco TelePresence 会議室で HD スタジオ記録機能が使用できます。記録はスケジュールに従って自動的にアーカイブしたり、[デジタル コンテンツ管理システム](#)に転送したりできます。CTRS は、PC、スマートフォン、デジタル サイネージなどのビデオ対応デバイスに Cisco TelePresence の記録を配信できます。CTRS は、[Cisco TelePresence Multipoint Switch](#) および [CTS Manager](#) と同じ信頼性の高い Media Convergence Server (MCS) プラットフォームで動作します。

CTS Manager [Cisco TelePresence Manager](#)。Microsoft Exchange、Lotus Notes などの一般的なエンタープライズグループウェアを使用して Cisco TelePresence コールをスケジュールし、管理するソフトウェアアプリケーション。

CTS デバイス [Cisco TelePresence System \(CTS\)](#) デバイス : CTS 500、CTS 500-32、CTS 500-37、CTS 1000、CTS 1100、CTS 1300、CTS 3000、CTS 3200、CTS 3010、CTS 3210。

D**Directory**

[Call] ウィンドウに表示される 3 つのタブの 1 つで、この他に [\[Favorites\]](#) タブと [\[Keypad\]](#) タブがあります。[\[Directory\]](#) タブは、管理者がディレクトリ リストを設定している場合のみ表示されます。[ディレクトリ検索を使用する場合](#)を参照してください。

DMP

Cisco Digital Media Player。デジタル サイネージや Enterprise TV 用にデジタル ディスプレイ上に高解像度ライブ オンデマンド ビデオ、モーション グラフィック、Web ページ、および動的コンテンツを再生するよう設定されているすべての IP ベース [エンドポイント](#)で使用できます。[Digital Media Player の使用方法](#)を参照してください。

F**Favorites**

[Call] ウィンドウに表示される 3 つのタブの 1 つで、この他に [\[Directory\]](#) タブと [\[Keypad\]](#) タブがあります。[\[Favorites\]](#) タブは、管理者がお気に入りリストを設定している場合のみ表示されます。これは、お気に入りリストが作成されていない場合でもお気に入りメニュー オプションが保持される Cisco Unified IP Phone の動作とは異なります。[お気に入りの使用](#)を参照してください。

H**HD**

高解像度ディスプレイ。Cisco TelePresence HD Interoperability ソリューションの一部です。同じ会議内で標準 (SD) 品質デバイスをサポートしながらビデオ品質を向上させるためにより高い帯域幅をネゴシエートする、サードパーティ製エンドポイントとの高解像度相互運用、および複数の (同じ) 相互運用デバイスのサポートを可能にします。

[Hold] ボタン

アクティブ コールを保留にするには、In-Call ウィンドウの [\[Hold\]](#) ボタンをタップします。コールは、[\[Calls on Hold\]](#) ウィンドウに配置されます。コールに戻るには、[\[Resume\]](#) ボタンをタップします。[自分自身の保留 / 再開](#)を参照してください。

[Home] ボタン

Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールの中央にあります。このボタンを押すと、すぐにアクティブな会議に戻ります。アクティブ コール中でない場合は、[\[Home\]](#) ボタンを押すと、設定されているデフォルトの「ホーム」画面に戻ります。[\[Home\]](#) ボタンは常に青色に点灯しています。[Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタン](#)を参照してください。

I**iDivert**

即転送 (iDivert) 機能では、コールをボイス メッセージング システムにただちに転送できます。コールが転送されると、回線で新しいコールを発信または着信できるようになります。この機能は、管理者によって [Unified Communications Manager](#) に設定されます。

K**Keypad**

[Call] ウィンドウに表示される 3 つのタブの 1 つで、この他に [\[Directory\]](#) タブと [\[Favorites\]](#) タブがあります。[\[Keypad\]](#) タブは、電話番号を手動でダイヤルしたり、タッチ トーンを入力する必要がある場合に使用できます。[キーパッドを使用する場合](#)を参照してください。

L

LCD [Cisco LCD プロフェッショナル シリーズ ディスプレイ](#)。CTS メイン ディスプレイ 画面。

M

Maximize Presentation-in-Picture (**PiP**) 制御。CTS メイン ディスプレイ にビデオ イメージ またはプレゼンテーションを拡大して表示するかどうかを制御します。CTS Cisco Unified IP Phone の [Swap] ソフトキー

Minimize と同じ機能を実行します。 [PiP 制御の使用法](#)を参照してください。

[Mute] ボタン Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールの右端にあります。 [Mute] ボタンはアクティブ コール中にだけ機能し、ミュート機能がオンのときは赤色に点灯します。1 回押すと、会議室全体をミュートまたはミュート解除できます。この [Mute] ボタンは、室内マイクの [Mute] ボタンと同じです。 [コールのミュート](#)を参照してください。 [Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタン](#)も参照してください。

P

PiP Presentation-in-Picture。進行中の会議で、メイン ディスプレイ 画面に表示されるウィンドウでデータやグラフィック コンテンツを共有できます。メイン ディスプレイ 画面内の PiP ウィンドウを表示する場所を調節するには、Cisco TelePresence Touch 12 の画面の [PiP] ボタンをタップします。PiP はすべての CTS モデルで使用できます。 [PiP 制御の使用法](#)を参照してください。

S

SD 標準解像度ディスプレイ。

Show and Share Cisco TelePresence ネットワーク管理者が Cisco Show and Share をエンタープライズ ビデオ ポータルとして設定している場合、Cisco TelePresence Touch 12 からすぐに記録をパブリッシュするか、ドラフトを Cisco Show and Share に保存できます。

U

URI ダイアル Uniform Resource Identifier (URI)。インターネット上の名前やリソースを識別するのに使用される文字列。この識別により、ネットワーク上のリソースの表現方法との相互運用が可能になります。TelePresence では、ダイヤリングは電子メール形式の URI を使用する異なるプライベート アドレス空間の間で行われます。Cisco TelePresence Touch 12 での URI ダイアルのサポートは今後のリリースで予定されています。

V**[Volume] ボタン**

Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールの右側中央にあります。呼び出し音、スピーカ、DMP/プレゼンテーションの音量を制御します。[More] > [Settings] で同様の音量設定の変更を行うことができます。このボタンは、使用されている間は点灯しません。音量その他のコール設定の制御を参照してください。Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタンも参照してください。

VGA

デバイス固有のドライバがコンピュータにロードされる際の基盤として機能する、PC グラフィックスハードウェアでサポートされるグラフィカル標準。プレゼンテーションは、Cisco TelePresence 室内 VGA ケーブルを使用して画面上で共有できます。プレゼンテーションの共有を参照してください。

あ**アドホック会議**

スケジュールされていない、管理者によって開始されるダイヤルアウト会議。会議スケジュール担当者または管理者が、マルチポイント会議に参加する会議室の電話番号をリストすることで Cisco TelePresence Multipoint Switch (CTMS) 管理インターフェイスを介して会議を開始します。定例会議を参照してください。

え**エンドポイント**

Cisco TelePresence System (CTS) エンドポイント。Cisco TelePresence System を構成するハードウェアとソフトウェアの組み合わせ。

お**音声コール**

ビデオを含まないコール。音声コールを Cisco TelePresence 会議に送ることを目的としています。

音量

Cisco TelePresence Touch 12 の音量設定を調整するには、[More] > [Settings] をタップします。音量その他のコール設定の制御を参照してください。

か**会議**

音声コールを含む Cisco TelePresence 会議。

画面解像度

メイン ディスプレイ画面上でイメージに表すことができる詳細の細かさ。プレゼンテーション デバイスで最適に表示するには、ラップトップ コンピュータの画面解像度を 1024x768 に設定します。

き

- キーパッド** 電話番号を手動でダイヤルしたり、タッチ トーンを入力する必要がある場合、数値キーパッドを使用できます。Cisco TelePresence Touch 12 でキーパッドを使用する例については、[数字キーパッド](#)を参照してください。
- キーボード** 名前や電子メール アドレスを入力する必要がある場合、標準キーボードおよび特殊文字キーボードを使用できます。Cisco TelePresence Touch 12 でキーボードを使用する例については、[標準および特殊文字キーボード](#)を参照してください。

こ

- コーデック** 音声信号およびビデオ信号を処理する Cisco TelePresence System のユニット。設定に応じて、プライマリ コーデック、セカンダリ コーデック、およびプレゼンテーション コーデックを使用できます。[プライマリ コーデック](#)、[セカンダリ コーデック](#)を参照してください。Cisco TelePresence Touch 12 は、小型でフラットな統合コーデックを搭載しています ([Cisco TelePresence Touch 12 の概要の図 3](#)を参照)。

し

- 自動応答** 自動応答を制御できるように設定されている場合、[More] > [Settings] をタップして [On] または [Off] をタップします。設定されていない場合、自動応答はデフォルトで [Off] に設定されています。[音量その他のコール設定の制御](#)を参照してください。着信コールに自動応答する前にコールを消去するには、[Incoming Call] ウィンドウの [Ignore] ボタンをタップして呼び出し音を止め、コールを [iDivert](#) に送信します。

す

- スケジュールされた会議** マルチポイント Cisco TelePresence 会議は、Microsoft Exchange または IBM Domino クライアントを使用しているエンド ユーザによって [ポイントツーポイント会議](#) をスケジュールする場合と同じ方法でスケジュールされます。スケジュールされた会議には、Cisco TelePresence Multipoint Switch (CTMS) 管理者の操作は必要ありません。CTS-Manager はスケジュールされた会議の必須コンポーネントです。Microsoft Exchange または Lotus Domino と CTMS との間のインターフェイスを提供して、CTMS の適切なリソースを [マルチポイント会議](#) 用に予約できるようにします。
- スピーカ** Cisco TelePresence Touch 12 のスピーカ音量を調整するには、[More] > [Settings] をタップします。[音量その他のコール設定の制御](#)を参照してください。
- スピーカ、アクティブ** アクティブ スピーカとは発言している参加者です。
ブ

せ

- セカンダリ コーデック** 大規模な Cisco TelePresence 3000/3200 システムでプライマリ コーデックを補助するコーデック。セカンダリ コーデックは音声信号とビデオ信号を処理し、それらをプライマリ コーデックに送信します。プライマリ コーデックはそれらの信号を各単一の RTP ストリームに多重化します。
- セグメント** 単一の CTS メイン画面。複数のメイン ディスプレイがある会議室では（たとえば、CTS 3200）、3 つのセグメントがあります。マルチポイント会議では、複数のロケーションにまたがる 1 回の会議で最大 48 のセグメントがサポートされます。

て

- ディスプレイ画面アイコン** Cisco TelePresence System (CTS) ディスプレイ画面に表示されるシステム情報アイコン。システム情報には、コール接続ステータス アラート、会議アラート、およびメンテナンス アラートが含まれます。プラズマ画面アイコンとも呼びます。
- ディスプレイ画面アニメーション** Cisco TelePresence System (CTS) ディスプレイ画面に表示されるシステム情報アイコン。システム情報には、コール接続ステータス アラート、会議アラート、およびメンテナンス アラートが含まれます。これらのアラートはある状態から別の状態へ変化して、システムのステータスを示します。
- 定例会議** 管理インターフェイスを介して Cisco TelePresence Multipoint Switch (CTMS) に設定されているスケジュールされていない会議。定例会議を設定する会議スケジュール担当者または管理者は、会議にアクセスするのに使用される会議アクセス番号を手動で割り当てます。[アドホック会議](#)を参照してください。

ふ

- プライマリ コーデック** プライマリ コーデックはプライマリ CTS 制御ユニットで、セカンダリ ユニットと通信し、アプリケーション ネットワークでパケットを送受信します。プライマリ コーデックにはオンボードのギガビットイーサネット スイッチが含まれます。たとえば、CTS 3000 または CTS 3200 システムでは、プライマリ コーデックが 2 つのセカンダリ コーデック、および多くのシステム コンポーネントとグラフィカル ユーザ インターフェイスを制御します。Cisco TelePresence 1000 では、すべてのシステム機能をプライマリ コーデックが制御します。

へ

- ヘッドセット** Cisco TelePresence Touch 12 のヘッドセット音量を調整するには、[More] > [Settings] をタップします。[音量その他のコール設定の制御](#)を参照してください。

ほ

ポイントツーポイント会議 ビデオ会議での 2 つのサイトの直接接続。これは、2 つのサイトが同じ接続タイプ (IP または ISDN のいずれか) を使用している場合にだけ機能します。

ボタンバー Cisco TelePresence Touch 12 のメイン ナビゲーション ツール。デフォルト ボタンバーの [More] をタップすると、2 つ目のボタンバーに追加ユーザ オプションが表示されます。[プライマリおよびセカンドリ ボタンバー](#)を参照してください。

ま

マルチポイント会議 マルチポイントにより、1 回のビデオ会議で複数のサイトに接続できます。これには通常ブリッジが必要ですが、ビデオ会議ユニットのなかには複数のサイトを接続できるものもあります。マルチポイント機能は、管理者によって Cisco TelePresence Multipoint Switch (CTMS) 管理インターフェイスに設定されます。

よ

呼び出し音 Cisco TelePresence Touch 12 の呼び出し音設定を調整するには、[More] > [Settings] をタップします。[音量その他のコール設定の制御](#)を参照してください。デバイスのコール制御オプションに注意を向けるために、着信コールの呼び出し音は Cisco TelePresence Touch 12 のスピーカからのみ再生されません。

ら

ライブ デスク Cisco TelePresence [エンドポイント](#)に割り当てられた番号。この番号により、会議中に発生する可能性がある問題の解決をサポートするシスコの担当者に接続できます。ライブ デスクに接続するには、Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールの左側にある左側にあるライブ デスク ソフトキーを押します。ライブ デスクが Cisco TelePresence エンドポイントに割り当てられていない場合、電話機の画面に「There is no Live Desk number configured」というメッセージが表示されます。

ライブ デスクは、管理者によって CTS-Manager 管理インターフェイスに設定されます。Cisco TelePresence Touch 12 でライブ デスクを使用する方法については、[ライブ デスクに電話をかける](#)を参照してください。[Cisco TelePresence Touch 12 のコンソールのボタン](#)も参照してください。

れ

連絡先カード [Directory] リストまたは [Favorites] リストのエンドポイント名をタップしたときに表示されます。このウィンドウには、エンドポイント名および電話番号とともにコールを開始するオプションが表示されます。連絡先カードを消去するには、右上隅にある「閉じる」ボタンをタップするか、カード以外の場所をタップします。



INDEX

C

Cisco TelePresence Touch 12

- コーデック [vi](#)
- コンソール [1-8](#)
 - ライブ デスク ボタン [4-5](#)
- コンソールのボタン
 - Answer Call [1-9](#)
 - Home [1-8](#)
 - Mute [1-9](#)
 - Volume [1-9](#)
 - ライブ デスク [1-8](#)

D

- DMP の使用 [3-24](#)

T

- Touch 12 使用のヒント [4-5](#)
- Touch 12 のクリーニング [4-6](#)

U

- URI ダイヤル [1-3](#)

お

- 音声コールの追加 [3-11](#)
- 音量の設定
 - 会議、スピーカ、およびヘッドセット [2-17](#)

か

会議コントロール

- アイコン
 - Audio Indicator [3-2](#)
 - Cisco WebEx [3-3](#)
 - Meeting Security [3-3](#)
- ボタン
 - Call Duration [3-2](#)
 - Call-In Information [3-2](#)
 - Participants [3-2](#)
 - Settings [3-2](#)
 - Touch Tones [3-2](#)

会議の録音

- Show and Share に保存 [5-16](#)
- パブリック ビデオの再生 [5-23](#)
- ビデオの確認 [5-10](#)
- ビデオの共有 [5-12](#)
- ビデオの再生と削除 [5-22](#)
- ビデオの削除 [5-20](#)
- ビデオの編集 [5-18](#)
- ビデオの録音 [5-5](#)
- 保存したビデオの管理 [5-18](#)
- ログイン [5-1](#)
- 会議への参加 [2-4](#)
- カレンダー [2-2](#)

き

キーパッド

- 数字 [1-6](#), [2-6](#), [1-5](#)

キーボード

- 標準、特殊文字 [1-6](#), [1-5](#)

こ

コール ステータス [4-2](#)

コール制御

DTMF タッチトーンを送信 [3-5](#)

音声専用のエンドポイントをドロップ [3-3](#)

会議設定を管理 [3-7](#)

情報を表示 [3-4](#)

スケジュールされた会議を延長 [3-8](#)

他のアプリケーションを開く [3-10](#)

マルチポイントのビデオ参加者をドロップ [3-3](#)

コールの開始

お気に入り [2-10](#)

キーパッドで [2-6](#)

ディレクトリ検索で [2-7](#)

コールの設定

音声モードの選択 [2-17](#)

音量と呼び出し音 [2-15](#)

画面の明るさ [2-19](#)

メディア

スピーカーおよびヘッドセットの音量 [2-18](#)

コールのミュート

[Mute] ボタン [2-13](#)

コールへの応答

[Answer Call] ボタンを使用 [2-12](#)

タッチ スクリーンから [2-11](#)

し

システム アラート

会議に関するメッセージ [6-3](#)

解像度に関するメッセージ [6-1](#)

システムに関するメッセージ [6-5](#)

トラブルシューティングに関するメッセージ [6-5](#)

プレゼンテーションのビデオ信号 [6-1, 6-2](#)

録音に関するメッセージ [6-6](#)

システム情報 [4-2](#)

システム ステータス [4-1](#)

自分自身の保留

[Hold] ボタン [2-14](#)

周辺装置情報 [4-3](#)

せ

セルフ ビュー [2-1](#)

た

タッチ ナビゲーション ツール

セカンダリ ボタン バー [1-1](#)

プライマリ ボタン バー [1-1](#)

ふ

プレゼンテーション

PiP 制御 [3-23](#)

プレゼンテーションの共有

自動共有 [3-16](#)

プレゼンテーション プライバシー [3-18](#)

へ

ヘルプの使用法 [1-1](#)

ほ

ボタン バーのボタン

Call [1-2](#)

Doc Cam [1-3](#)

Less [1-2](#)

Media Player [1-3](#)

Meetings [1-2](#)

More [1-2](#)

Presentation [1-2](#)

Recordings [1-3](#)

Self View [1-4](#)

Settings [1-3](#)

Status [1-5](#)

も

問題のレポート [4-3](#)

ら

ライブ デスク [4-4](#)

ろ

録音

Cisco TelePresence Video Portal を使用 [5-3](#)

PIN を選択 [5-3](#)

ユーザ名を保存 [5-3](#)

